



2024年度

西大和学園カリフォルニア校

学校便覧

Handbook

目次

I	運営に関すること	3
	1. 学校概要	3
	2. 教育方針	4
	3. 指導方針	4
	4. 教育課程	6
	5. 学校安全	6
II	在学や諸手続きに関する規定	7
	1. 幼稚園/学校との連絡や情報共有の方法について	7
	2. 授業料・教材費等、就学費用について	8
	3. 各種届出事項について	8
	4. 証明書の発行について	10
	5. 学園指定の制服（以下、制服）について	10
	6. 事務局での教材販売について	10
	7. 教育活動中の病気怪我等への対応について（お願い）	10
	8. エマージェンシーバッグについて	11
	9. 情報誌・ホームページ等への写真の掲載について（お願い）	11
III	学校生活に関する規定	12
	1. 就学に関わる規定	12
	2. 教務に関わる規定	15
	3. 校則	15
	4. 学校生活に関わる諸規定	18
IV	各学部からのメッセージや方針など	19
	1. 幼稚園	19
	2. 小学部	22
	3. 中学部	25
	4. デジタル図書館について	26
V	Policies	27
VI	巻末別表集	29
	〈巻末別表1〉	30
	〈巻末別表2〉	31
	〈巻末別表3〉	33
	西大和学園カリフォルニア校 学校便覧 早見表	35

I 運営に関すること

1. 学校概要

(1) 運営法人

- ①名 称 西大和学園カリフォルニア校 Nishiyamato Academy of California
- ②設立年月日 1992年7月22日
- ③所在地 2458 Lomita Blvd., Lomita, CA 90717
Phone: (310)325-7040 Fax : (310)325-7621 E-mail: mail@nacus.org Web: www.nacus.org
- ④設立者 学校法人 西大和学園 会長 田野瀬良太郎
- ⑤管理職員 理事長 田野瀬良太郎、専務理事 田野瀬夏子、学園長 西川勝行
- ⑥設置校 西大和学園カリフォルニア校 (小中学部)、西大和学園カリフォルニア校附属幼稚園、

(他の系列校: 西大和学園補習校 (ロミタ校舎、パロスバーデス校舎、アーバイン校舎)、西大和学園オンライン補習校、西大和学園サンノゼ幼稚園)

(2) 西大和学園カリフォルニア校 小中学部 (全日制: 小学部第1学年~中学部第3学年)

- ①開校年月日 1993年4月
- ②管理職員 校長 小倉佳恵、教頭 谷口弘芳

(3) 西大和学園カリフォルニア校附属幼稚園 (全日制: 年少ちょうちょ組、年中たんぽぽ組、年長ひまわり組)

- ①開園年月日 1995年4月
- ②幹部職員 園長 臼井峰世

(4) 運営委員会

西大和学園カリフォルニア校が地域や保護者との信頼関係を深め、学校運営の改善や、園児・児童・生徒の健全育成に取り組む適切な学校運営のため、学校運営委員会を設置し、定期的に会議を開いている。

委員名簿 (2024年度4月1日現在) :

井上洋輔氏、込山洋一氏、鶴亀彰氏、福島祥修氏、三角豊氏、Ty Carter氏 (五十音順)

(5) 沿革

- 1991年3月 西大和学園中・高等学校国際部長北谷成人設置調査のため渡米
- 1993年4月 松本伸司初代校長着任
西大和学園カリフォルニア校カバナントチャーチ校舎にて開校
小学6年、中学1年、2年開設
- 1994年4月 小学5年、中学3年増設
- 1994年9月 ダブルグレイ校舎に移転
- 1995年4月 西大和学園カリフォルニア校 附属幼稚園開園、小学4年増設
- 1996年3月 文部省より在外教育施設として認定される
- 1996年4月 小学1年~3年増設
- 2000年10月 ロミタ校舎完成・竣工式
- 2002年6月 西大和学園補習校開校 小学4年、5年、6年開設
- 2004年4月 西大和学園補習校 生徒数増加に伴い二校舎制ならびに複数学級制開始
幼稚園年長~小学4年ロミタ校舎、小学5年~中学2年パロスバーデス校舎 (リッジクレスト)
- 2007年4月 西大和学園補習校 生徒数増加に伴い、幼稚園年長~小学3年ロミタ校舎
小学4年~中学3年生パロスバーデス校舎
- 2009年9月 西大和学園カリフォルニア校 附属幼稚園年少組開設
- 2010年4月 西大和学園補習校 幼稚園年中組増設
- 2010年9月 西大和学園カリフォルニア校 附属幼稚園プレ年少組開設 (現在は入園準備ひよこ教室を開室)
- 2011年4月 西大和学園補習校 アーバイン校舎 開設
- 2012年10月 西大和学園サンノゼ校幼稚園開校 (姉妹園)
- 2014年10月 西大和学園カリフォルニア校 運営委員会設立
- 2015年4月 小倉佳恵第7代校長着任 (現職)
- 2017年9月 平日校25周年・補習校15周年創立記念式典挙行
- 2017年9月 ロミタ校舎において西大和イノベーションカルチャーセンター (NICC) 新設
- 2018年4月 アーバイン校舎において中学3年増設
- 2022年4月 西大和学園オンライン補習校開校

2. 教育方針

西大和学園グループに共通する「(1) 校訓」および「(2) 生活実践目標」の土台の下、自らの手で次代を切り拓き、「(3) グローバルな視野で活躍できる人材」の育成を目指して、「『わたし』を叶えるバイリンガルリーダーに」をスローガンとして掲げ、教育にあたる。各項目の詳細は以下の通り。

(1) 校訓 「探究 誠実 気迫」

探究(知育)：未知の世界に深い関心を持ち、自己の可能性を最大限に伸ばす人間を育てる。

誠実(徳育)：人間尊重の精神に基づき、他人の価値観を尊重し、信愛の情を持って人に接する心を養う。

気迫(体育)：心身を錬磨し、たくましい精神と体力を育てる中で、何事にも公明正大で、責任をもってやり遂げる気概と困難に打ち克つ力を育てる。

(2) 生活実践目標 「場を清め、時を守り、礼を正す。」

環境が心を育て、時を守ることが社会人としての第一歩であり、感謝の念を持つことが自立の基礎となる。

(3) 西大和グローバル教育のめざす八つの人格 (8 Personalities)

- | | |
|------------------------|---|
| 一、花のように、笑顔で挨拶できる人 | Be able to greet others with a dazzling smile like the blooming flower. |
| 二、海のように、異なる文化社会を受け入れる人 | Be able to accept all diversity like the limitless ocean. |
| 三、山のように、知識と教養を積み上げる人 | Be able to accumulate knowledge like the towering mountain. |
| 四、炎のように、問題解決に突き進む人 | Be willing to solve difficult problems like the flaring fire. |
| 五、大空のように、世界の平和を願う人 | Be considerate and wish for world peace like the endless sky. |
| 六、雑草のように、世界のどこでも生き抜く人 | Be able to thrive in any environment like the determined root. |
| 七、川のように、謙虚に清んだ心を持つ人 | Be humble and have an understanding heart like the lucid river. |
| 八、太陽のように、夢の実現に挑戦できる人 | Always challenge yourself to obtain your dreams like the vivid sun. |

3. 指導方針

(ア) 小中学部

学校教育方針に基づき、指導のあらゆる場面において、子供一人ひとりの心身の成長と能力開花促進を念頭におく。

(1) 学習指導 (探究 (知育))

- ①学習する喜びと意欲を持たせられるような指導を行う。
- ②小学部は、学習指導要領の趣旨を踏まえた基礎学力の完全定着を前提として、学習の仕方や習慣の習得のみならず、一部中学部への準備教育も行う。
- ③中学部は、学習指導要領の土台のもと、日本の高校進学を前提とした応用的・発展的内容の習得も目指す。
- ④小中学部は、日本漢字能力検定、実用英語技能検定の資格取得を始め、確かな学力を身に付けることで、帰国後の希望進路がより安定的に実現されるよう支援する。(検定の詳細は(3)参照)
- ⑤小中学部における各教科の重点は次の通りとする。

教科名	小学部	教科名	中学部
国語 社会 算数 理科	文科省検定教科書の内容の完全習得を目標として、丁寧かつ分かりやすく授業を展開。副教材も用いた家庭での課題も適量設定し、学習内容の定着の助けとしている。少数数である強みを最大限生かし、議論や発表の機会を数多く持ち、自ら考える姿勢を育てている。また、米国に居住していることも生かして、日本とアメリカの比較ができるようなアプローチで授業を行っている。校外学習としてスーパーマーケットの見学や水処理場・消防署などの公共施設を見学することもある。	国語 社会 数学 理科	文科省検定教科書以外に、新中学習題集(発行：教育開発出版)を採用。授業内容、課題の工夫により高校受験の準備も兼ねたカリキュラムとなっている。
生活	低学年らしく、楽しく周囲のことに目を向け学びながら、日米の比較できる要素も盛り込み、子供のグローバル感覚も養う。	英語 (English) (受験英語)	中高一貫私立向けのNew Treasureおよびその傍用問題集を採用し、4技能をバランスよく、そして高い水準の英語教育を行っている。日本の高校受験(帰国生入試・一般入試など)に完全対応。時事ニュースも教材としてあつかみ、国際感覚の素養も同時に高めている。
図画工作 音楽家庭	英語ネイティブ教員による、イメージング授業を実践。ネイティブ教員である強みを活かし、日本のカリキュラム内容と現地の文化を融合させた授業を展開。	美術 音楽 技術・家庭	英語ネイティブ教員による、イメージング授業を実践。ネイティブ教員である強みを活かし、日本のカリキュラム内容と現地の文化を融合させた授業を展開。定期考査も英語で行われる。(英検の受験機会に応じて、単独の日本籍課を設け)
保健体育	健康・安全に留意して基礎体力の向上、身体の扱い方を学ぶ。また、互いに協力したり、最後まで努力する態度を養う。	保健体育	健康・安全に留意して基礎体力の向上、身体の扱い方を学ぶ。また、互いに協力したり、最後まで努力する態度を養う。
ENGLISH (外国語)	外国語の授業「English」はELDと連動し、Scholastic news(子供新聞)と文法教材を用い、読む・書く活動を中心に、文法も学べる授業を展開。帰国後の英語力保持もそのねらいにある。	総合	リーダーシップ力や、自身で判断選択を考えることのできる力を身に付けることに主眼を置き、校外研修や運動会をはじめとしたあらゆる場면을教材に、話し合いや企画運営を通して各自の個性を成長させます。
ELD/ELA	English Language Development 米国社会において英語での自立を目的としてカリキュラムを編成し、総合的な英語力を身に付ける。1-3年生、4-6年生をそれぞれ英語習熟度別の3つのクラスに分け、より効果的に授業を展開する。クラス分けは(巻末別表2)に沿って行う。	ELD/ ELA	English Language Development 米国社会において英語での自立を目的としてカリキュラムを編成し、総合的な英語力を身に付ける。中学部3学年を英語習熟度別の3つのクラスに分け、より効果的に授業を展開する。クラス分けは(巻末別表2)に沿って行う。
EIKEN	英検(実用英語技能検定)へのチャレンジと取得を目的とした授業。各自の学習級に応じたテキストを用いて、上位級の取得を目指す。適宜、過去問への取り組みや面接練習も行う。	EIKEN	英検(実用英語技能検定)へのチャレンジと取得を目的とした授業。各自の学習級に応じたテキストを用いて、上位級の取得を目指す。適宜、過去問への取り組みや面接練習も行う。

(2) グローバル教育（探究（知育））

- ①アメリカの地理・歴史・文化・風土・習慣に直接触れること、理解することを通して、アメリカをはじめとした、日本以外の国の文化を理解・吸収できる素地を育成する。
- ②英語の習得を促すため、英語に触れる機会を確保、地域を教材とした活動（遠足等）、英検受検機会の提供等を積極的に行う。

(3) 検定取得に向けた学習（探究（知育））

明確な目標設定と挑み続ける心を養うため、以下2つの検定合格に向けた学習に取り組む。

①実用英語技能検定（英検）

授業 EIKEN にてテキスト学習、過去問演習、面接練習に取り組みながら、準1級の取得を最終目標に据え、順次上位級に挑戦する。準会場として、第2回英検（10月）を実施し、2級までの第一次試験をNACで受検することができる。受検の申込案内は学校から保護者に行われる。これ以外の公開会場の受検申込は各自が行う。

②日本漢字能力検定（漢検）

国語授業内にて新出漢字の学習を行い、また小テスト等にも取り組みながら漢字の習得と習熟を目指す。受検級は学年相当（1年10級、2年9級・・・）とし、中学生は在学中に3級までの取得を目指す。

準会場として、第3回漢検（1月下旬～2月上旬）を実施する。受検の申込案内は学校から保護者に行われる。

(4) 道徳指導（誠実（徳育））

- ①教師と子供、子供と子供の人間活動を密にし、本校の園児・児童・生徒である誇りを持たせるようにする。また、日本人（または日本の教育を受ける者）としての誇りと行動力を高めるように、学校におけるすべての教育活動を通して指導する。
- ②毎日の教育活動を通して他人に対する思いやりの気持ちを育み、自分も含めすべての人の基本的人権を尊重する精神を持たせる。そして、あらゆる差別を許さない鋭い感受性を身につけさせる。
- ③集団活動を通して豊かで充実した学校生活を送り、自主的な態度を育成するために特別活動の充実を図る。
- ④働く喜び、協力することの大切さを身につけるとともに、一人一人に学習課題を見つけさせ、問題解決の能力を育む。

(5) 環境教育（誠実（徳育））

現在世界全体が直面している環境問題を直視し、常に問題意識をもって行動できる21世紀のリーダーたる人材の育成にあたる。また、積極的に奉仕活動に参加し、身の回りの環境、地球を大切にす精神を育む。

(6) 健康安全指導（気迫（体育））

- ①体育の授業はもちろんのこと、学校教育活動全体を通して体力の向上に努め、粘り強く心身共にバランス良く成長した子供を育てる。
- ②安全教育を計画的に行い、事故防止の徹底を図る。

(イ) 幼稚園

(1) 幼児期における豊かな人格形成

人格形成に最も重要な幼児期に、心身共に健康でたくましい子に育てる。また、はじめと協調性を身につけるためのしつけ教育や豊かな感性を育てる情操教育を行う。

(2) 個々の可能性を引き出す就学前教育

就学前教育として、数あそび、ひらがな、カタカナ、習字、体育指導など様々な設定保育を通し、個々に持つ豊かな可能性を引き出し、意欲あふれる子供を育てる。

(3) たのしい英語教育

日本の文化習慣を十分に理解させた上で、生活の中に英語を取り入れながらバイカルチャー、バイリンガル教育を目指す。

4. 教育課程

国社算(数理)については、日本とほぼ同数の授業時数を確保した上で、
 おおよそ（日本語で行う授業の時数）：（英語で行う授業の時数）＝ 7 : 3 となるように教育課程を定める

(1) 小学部 一週間の授業時数

学年	国語	社会	算数	理科	生活	外国語 ENGLISH	音楽 MUSIC	図画工作 ART	体育	家庭 HomeEconomics	ELD/ELA (総合)	道徳	特別活動	合計
1年	9		4				2	2	3		5	1	1	30
2年	9		5				2	2	3		5	1	1	31
3年	7	2	5	3		1	2	2	3		5	1	1	32
4年	6.5*	2.5*	5	3		1	2	2	3		5	1	2	33
5年	5	3	5	3		2	2	2	3	2	5	1	2	35
6年	5	3	5	3		2	2	2	3	2	5	1	2	35

※国語と社会を弾力的にそれぞれの0.5時数分を扱う。

(2) 中学部 一週間の授業時数

学年	国語	社会	数学	理科	音楽 MUSIC	美術 ART	保健体育	技術家庭 HE/TECH	英語 (ENGLISH) (290分)	ELD/ELA 総合※1	道徳	特別活動	合計
1年	5	4	5	3	1	1	3	1	5	4	1	2	35
2年	5	3	5	4	1	1	3	1	5	4	1	2	35
3年※2	5	4	5	4	1	1	3	1	5	3	1	2	35

※1 総合的な学習は総合の時間とELD以外にも校外研修等の学校行事を通して行う。

※2 中学部3年生の受験期である第3学期（1月～3月）は、特別時間割（午前のみ）により授業を行う。在籍者の出欠状況等を踏まえ、時間割・教科などを決定。

5. 学校安全

子供たちが安心して学ぶことができるため、安全な環境を実現させる。

(1) 警備員の配置（以下、セキュリティー）

学校が選定した警備会社より1名の常駐セキュリティーを配置する。セキュリティーは、学校敷地を出入りする人や車両のチェックを中心に行い、校舎を含む敷地内の巡視により安全点検も随時行う。また、必要に応じて、各種ゲートの開閉や車両整理も行い事故の防止を含め安全管理に努める。

配置は、8：00～17：00を基本とし、子供の登下校に合わせ変更する。

(2) チャイルド・アビューズのレポートについて

本校は、子供に対して身体・精神・言葉面のいずれの虐待や放任・放棄も許さない方針である。また法律により、園児・児童・生徒の中で、家庭での虐待の可能性が疑える症状や状況が見られた場合、学校は州の担当局へレポートの提出の義務があります。

(3) 学校安全のために保護者が守ること

- ①学校敷地内での自動車運転は、子供の飛び出しや死角への配慮を行い、必ず時速5マイル（5mph）以下（最徐行）で行うものとする。
- ②駐車場や車両の往来がある場所を歩く場合、可能な限り横断歩道を利用し、各自が安全に配慮すること。
- ③校舎の出入りは、正面玄関を基本とし、行事に応じて、教職員やセキュリティーの指示に倣うこと。
- ④駐車場で子供を遊ばせないこと。
- ⑤グラウンドは非開放とする。放課後であっても子供をグラウンドで遊ばせないこと。

重要事項

- ⑥登校/下校時刻以前、降園/下校後の子供の保護監督責任は、すべて保護者が負う。
- ⑦登校/下校時刻以前、降園/下校後に起こった全ての事故やトラブルに関して、園/学校は一切責任を負わない。

(4) 災害時の対応について

- ①子供の安全を最優先に考え、〈巻末別表3〉通りの対応を行う。
- ②避難状況や保護者送迎指示など、必要な情報は事前に登録された緊急連絡先（保護者ページから編集可）にテキスト配信される。学校通信機能（警察・消防とのやり取り、状況の配信）に支障が出ないよう、学校へは連絡しないこと。
- ③ロックダウン、地震/火災を想定した避難訓練を計年5回実施する。

Ⅱ 在学や諸手続きに関する規定

1. 幼稚園/学校との連絡や情報共有の方法について

学校の教育方針や教育活動の内容を、家庭がよりよく理解し、子供たちへの教育効果を高めるため、可能な限り参加をしてください。また定例のもの以外に必要なに応じて随時行われる場合があります。なお、以下はすべて日本語によって行われます（発行されます）。日本語が理解できない場合は、学校からの連絡の詳細がわかるように、必ず日本語通訳者または翻訳者の手配してください。

(1) 保護者ページ（本校ウェブサイトより）

- ①入学時（編入時）に割り当てられる個別のIDおよびパスワードを用いてログインできます。IDまたはパスワード紛失時は、事務局に届け出て、再発行を受けてください。
- ②子供の情報をプロフィール画面から入力してください。特に、**アレルギー情報**、**発達状況**は詳しく。
- ③学校からの各種案内の文書は保護者ページを通じて配信します。Eメールやテキストで配信通知を行います。
- ④連絡先や子供の心身の状況等に変更が生じた際には、直ちにプロフィール画面のアップデートを行い、その旨を学級担任に伝えてください。また、園児・児童・生徒の顔写真は毎年1月中にアップデートしてください。**特に、専門機関で特別支援に関する認定を受けた場合は、可能な限り速やかにお願います。**

(2) 定期的に行われる/発行されるもの

- ①全体保護者会
新年度4月に全保護者を対象として実施。当該年度の運営方針をはじめ、前年度からの変更点や着任教諭の紹介等、すべての活動に対する教育的背景の理解を求める。日本の最新の教育動向についても情報提供を行う。
- ②学年別保護者会 各学期初旬に学級担任が実施。学級の運営方針や学期内に行われる行事の説明を行う。
- ③懇談会
各学期下旬に学級担任が実施。子供の成長や学校での取り組み状況の共有、さらには次の学期に向けてのアドバイス等を行う。
- ④オープンハウス（授業参観）
保護者の方に日頃の学習の様子を見ていただくため、1学期と2学期に各1回実施する。ただし、中学3年（9年生）は受験対策のため1学期のみ。
- ⑤学校通信「浪漫飛行（ろまんひこう）」
毎月初頭に発行（8月はなし）され、2か月分の行事予定や実施された学校行事実施の様子、事務局からの所連絡などを掲載。年間行事予定の変更も本誌で案内する。
- ⑥学年通信（小中学部）/クラスだより（幼稚園）
Google Classroomを通じて配信する。行事日程やその詳細、下校時刻など最終確定情報を掲載。
幼稚園：毎週末にクラス担任が発行 小学部：毎週末に学級担任が発行 中学部：毎月初頭に学級担任が発行

(3) 日常的に活用されるもの

- ①連絡帳
担任に個別に伝えたいこと、相談したいこと、アポイントなど通常の伝達方法として活用。高学年で連絡帳を使用しない場合は、子供を通じてメモ書きでも良い。
- ②電話連絡
・学校から：怪我や体調不良の報告やお迎えの要請など急を要するものや、普段の子供の様子の共有など、必要に応じて随時行う。
・保護者から：できるだけ連絡帳を利用し、直接口頭で伝えなければならないことや急ぎの用事など。
- ③Eメール 学校の諸連絡を送信。学校文書の通知もEメールを通じて行う。

(4) 必要に応じて随時実施されるもの

- ①個別での面談/教育相談
保護者は学級担任等に懇談会とは別に面談（教育相談、進路相談、情報共有等）を申し込むことができる。
8：30～16：45のうち教職員が対応可能な時間に実施ができるよう事前に予約（アポイント）の上実施。
- ②来校依頼
幼稚園/学校から家庭への協力依頼、情報共有、病気・怪我のためのお迎え、子供への指導内容の伝達など必要に応じて、幼稚園/学校から保護者の来校を依頼する。

- (5) 緊急時の連絡先：学園長（携帯）310-748-1923 （専務理事（携帯）310-748-8761）

2. 授業料・教材費等、就学費用について

(1) 授業料・教材費とその納入方法

- ①登録料、授業料、教育施設充実費、兄弟姉妹の割引については、事務室にて「授業料等 費用一覧」より確認できる。
- ②授業料は8月を含む、年に12回の月払いとする。
- ③学年途中で編入園・編入学した場合は、その月の授業料および教育施設充実費は、在籍日数により日割り計算し、編入園・編入学前に徴収する。また、退園、退学をする際は、退園・退学する前の月の15日までに退園退学届けを事務室に提出した場合のみ、退園・退学する月の授業料および教育施設充実費を日割り計算し、徴収する。ただし、4月、7月、8月、12月、1月、3月の日割り計算は行われない。（8月編入生を除く）一度納入された授業料および教育施設充実費、登録料は、いかなる理由があっても、返却されない。
- ④長期休学をする場合は、休学をする前の月の15日までに休学届けを事務室に提出し、1ヶ月単位（1日～末日）で休学する場合のみ、授業料および教育施設充実費を半額とする。ただし、夏、冬、春の長期休暇にかかるため、3月、7月、8月、12月は対象外とする。休学による各費用減免期間は、年度ごと最長2か月とする。
- ⑤中学部3年生は、12月末に卒業証書授与式を行うが、3月末日まで在籍する。第3学期（1月から3月）は特別時間割（午前のみ）となるため、授業料および施設充実費については、全額の6割を徴収する。
- ⑥卒園・卒業学年であっても、3月末まで在籍するため、3月は日割り計算は行われない。
- ⑦各種副教材に加え、模擬試験費用、学外行事の費用（遠足、宿泊研修（小学部5・6年生と中学部））なども教材費として扱い、配付/実施後に毎月の授業料の請求と併せて徴収し、その内容と共に保護者に知らせる。特に、英検教材は、学習級に合格し、指導員が適切と判断した時点で次の級の教材を配付・費用の徴収をする。また、学年末や学年末間際の転出入にて、学校での使用期間が短い場合でも、学年で配付する教材を購入するものとする。（ただし、兄姉の過去の教材活用ができると学校が判断した場合は購入を配慮される場合がある。）
- ⑧在園児・在校生より、卒園時・卒業生への記念品を贈るために、卒業記念品代を年に一度、在園児（プレ年少～年中組）、在校生（1～5年、7・8年）より徴収する。
- ⑨請求書（Notice）は毎月20日ごろ発行される。発行時には、テキストメッセージやEメールにて知らせる。毎月分の授業料・施設充実費が固定費用として毎月徴収される。
- ⑩自動引き落とし（ACH）は、毎月20日から25日までの間に行われる。
- ⑪引き落とし完了後に、領収書が発行される。発行時には、テキストメッセージやEメールにて知らされ、その後、保護者ページより取得できる。
- ⑫特別なリクエストによる領収書などは作成しない。
- ⑬残高不足などで出来なかった場合は、銀行から請求される手数料\$30を加算する。また、チェックでの支払いを希望する場合は、月\$10の手数を授業料に加算する。
- ⑭請求額の自動引き落としが失敗した場合には、その旨を通知した日から、1週間以内に小切手にて支払うこととする。支払いが1週間から2週間以上滞納状態となる場合には、\$30/週の事務手数料がかかり、さらに園児・児童・生徒は登校することができない。1か月以上滞納状態となる場合には、債権回収会社に授業料の回収を依頼し、同時に学籍が喪失し除籍処分となる。督促後の支払い小切手の不渡りやACHの不渡りは、理由の如何を問わず、処分の対象となる。

3. 各種届出事項について

(1) 予防接種記録（Immunization Record）

幼稚園および学校は、カリフォルニア州の法律により、園児・児童・生徒は年齢に応じて決められた回数 of 予防接種の接種状況を調査する義務がある。幼稚園は Immunization Record（通称：イエローカード）のコピーを、小中学部は、学校指定の予防接種記録用紙（保護者ページからダウンロード）を、編入後1週間以内に事務室に提出すること。定められた予防接種を受けていない場合は、ホームドクターと相談し、出来るだけ早く接種し、その記録を提出すること。追加接種を受けた場合も同様。

(2) 旅行届

災害時等の非常時において、領事館は学校を介して本校在籍者の安否確認をすることがある。そのため、長期休業中（春、夏、冬）に、学校が緊急連絡を行う場合がある。保護者は、長期休業中に旅行をする場合、学校指定の旅行届を保護者ページからダウンロードし、学級担任に提出すること。

(3) 休学届

本校指定の休学届を、保護者ページよりダウンロードし、休学をする初日の前月の15日までに事務局に提出すること。

- (4) 一時帰国時の短期就学（体験入学）届
保護者は義務教育期間において、子女が家事都合（旅行や病欠など）により長期にわたって授業や教育活動に参加できない状況が起こらないようにしなければならない。小中学生が一時帰国等のために2週間以上にわたって欠席をする場合は、日本において短期就学（体験入学）をさせること。学校指定の届出用紙は、学級担任に申し入れて取得し、学級担任に提出すること。
- (5) 公欠届 学級担任に申し入れて取得し、学級担任に提出すること。（公欠：学校長に許可された出席扱いとなる欠席）
- (6) 忌引届 (5)と同様（忌引：学校長に許可された日数を、出席すべき日数から減ずる）
- (7) 退園/退学届
本校所定の退園届・退学届用紙は事務局に申し入れて取得できる。提出期日は、退園/退学する月の前月の15日まで、提出先は事務局とする。
- (8) 学校感染症等届出書
①学校感染症に罹患した場合は、感染拡大防止のため、出席停止（登校してはならないこと）とする。
②再登校には医師の許可を必要とし、受診時に「再登校許可書/Excuse Slip/Certificate to Return to School」もしくはそれに準ずるものの発行を受けること。その際、疾病名、再登校してよい日付の明記が必要。
再登校してよい日付が明記できない場合は、それに代わる「症状がなくなったら」等、再登校の可否が判断できる内容の記載が必要。
③再登校後に担任より発行される学校感染症等届出書に②の書類を添付して、学級担任に提出
④学校感染症の種類と出席停止期間の参考基準

	疾病名	出席停止期間の参考基準
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、重症急性呼吸器症候群、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、鳥インフルエンザ(H ₅ N ₁)、新型コロナウイルス※1	治癒するまで ※1 ロサンゼルス保健局から指示された情報に基づき、登校で作成した出欠チャートを別途定める。
第二種	インフルエンザ	発症後5日かつ、解熱後2日(幼児は3日)を経過するまで(鳥インフルエンザ(H ₅ N ₁)を除く)
	麻疹	解熱した後三日を経過するまで
	風疹	発疹が消失するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消失した後二日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹が発現したのち、5日間を経過し、かつ全身状態が良好となるまで
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで
第三種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	症状により、学校医その他医師が感染の恐れがないと認めるまで
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフスなど。流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	症状により学校医その他医師が感染の恐れがないと認めるまで
	溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑(りんご病)、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症(ノロ・ロタ)、アタマジラミ、伝染性軟属症(水いぼ)、伝染性膿痂疹(とびひ)	医師から感染の恐れがあるため登校を控えるように指示された場合のみ出席停止扱いとする

4. 証明書の発行について

証明書の発行を希望する場合は、保護者ページより証明書発行願をダウンロードし、紙面にて事務局に提出すること。発行を希望する内容によっては、別途、退学届(Ⅳ-3-(7))の提出が必要な場合がある。また、発行には少なくとも一週間程度の日数を要するため、証明書発行願は受取希望日より少なくとも二週間前には、事務局に提出すること。

(1) 学校が発行できる証明書の種類と発行費用

発行できる書類	記載内容および備考	発行費用	
		在校生	卒業生/転出
成績証明書	在籍している学年の成績評定を記載。提出先からの指定あれば、前年度成績や別形式でも記載あり。	\$5.00	\$15.00
在籍証明書 (和文/英文)	発行日までの在籍期間を記載。	\$5.00※	\$10.00
教科用図書給与証明書	在籍学年中に本校が給与した教科用図書(教科書)の一覧を記載。本校が給与していない教科書については、本校編入時に提出されたものを使用。	\$5.00※	—
調査書	提出先の学校が指定する作成の要領および所定の様式も併せて本校に提出すること。学校のアドミッションポリシー等、書類作成に当たる諸情報として、必要に応じた追加書類の提出を求める場合がある。	\$5.00	\$10.00
推薦書		\$10.00	\$20.00
その他、学校の証明が必要な書類		\$5.00	—

※日本の学校への転出の場合は、在学証明書(和文)および教科用図書給与証明書は1通ずつ、発行費用なし

(2) 留意事項

- ① 厳封された書類は決して開封してはならない。開封したことによるいかなる不利益も学校はその責任を負わない。また、再発行を行わない。
- ② 厳封された書類を使用しなかった場合は、本校に返却しなければならない。その場合、発行費用は返却しない。
- ③ 在校生の発行費用は、授業料と共に引き落としにて徴収する。
- ④ 卒業生の発行費用は、チェックでの支払いとし、申し込み時に提出すること。
- ⑤ **普通郵便以外で学校が発送する場合は、(1)以外に、その郵送費を③④と同様の方法で家庭から徴収する。**

5. 学園指定の制服(以下、制服)について

(1) 制服の趣旨

学校生活ではじめをつけ、学習・活動を促進・充実させ、自主自立する子供たちの育成を目的として、制服および指定体操服を定める。

(2) 指定制服一覧 詳細は、Ⅲ-3-(4) 参照

(3) 制服購入方法 〈巻末別表1〉参照

6. 事務局での教材販売について

事務局にて、一部教材の販売を行う。

- ① ピアノカマウスピース、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、指定体操服(NACT シャツ、NAC ショーツ)、お昼寝用コットシート(年少全期、年中1学期用)を取り扱う。
- ② 事務局にて事務職員に申請する。保護者の同伴不要。
- ③ 料金は、授業料と併せ引き落とし。Noticeの明細に記載される。

7. 教育活動中の病気怪我等への対応について(お願い)

(1) 登園/登校前の健康観察について

以下の症状が見られた場合は、校内での感染拡大を防ぐため、欠席させてください。

- * 100度(F)以上の発熱があると同時に、下痢やのど、耳の痛みや発疹がある場合
- * 24時間以内に2回以上の嘔吐が確認された場合
- * 24時間以内に3回以上の水様便が確認された場合

新型コロナウイルス感染症の対応は、学校Webサイト「お知らせ」の学校再開要綱を確認してください。

それ以外の学校感染症の場合は、Ⅱ-3-(8)に従って所定の手続きを行うこととします。

(2) 教育活動中の病気・怪我等の対応について

①教育活動中に、園児・児童・生徒が、軽い怪我をしたり、気分が悪くなったりした場合、消毒・湿布など救急措置を行い（園児は水洗いのみ）、症状に応じてベッドで安静にさせます。ただし、基本的に、学校では飲み薬[※]を与えることはできません。

※処方された薬を持参させ、学校の監督下で服用させることを希望する場合は、事前に文書で、用法・用量含む説明を添えて、学級担任に提出してください。子供だけで飲むことはさせないでください。

②幼稚園内、学校内にて怪我が起こってしまった場合は、「Injury Report」というカードに詳細を記入し、その日のうちに説明と報告（小中学部は程度に応じて口頭のみ）を行います。相手があるときは双方とも。

②症状が重く、専門医の診断が必要とした場合は、保護者に連絡を取ります。連絡が取れない場合は、学校の判断で最適と思われる救急病院に受診させます。なお、緊急の場合の救急病院での治療同意書として、「緊急時個人資料/NAC Permission for Medical Care」に、必要事項を英語で記入し、編入園入学後約1週間以内に、事務室に提出してください。また、緊急に備えて、本人に適用される健康保険の写しを学校で保管しますので、併せて提出してください。

③病院によっては、上記の書類を提示しても保護者のサインがないと、治療を開始してもらえない場合があります。連絡が入ったら、保護者も病院まで来ていただくことをお勧めします。

(3) 学校感染症 Ⅱ-3-(8) 参照

(4) 学校加入の団体保険（規定）

①本校では、教育活動中（学校監督下）の事故、怪我に対して学校医療保険に加入している。

②保険適用審査の対象となるのは、事故やケガをした時に、各家庭で加入している保険を利用した際の個人負担分である。

③保険が適用されるかどうかは、すべてのケースについて保険会社が独自に調査を行い、保険会社が決定する。
（例：終礼後のケガは対象外）

④物損に関しては保険の対象ではない。

（例：体育の活動中の眼鏡の破損や、電子辞書の落下による破損等、物損はすべて対象外）

8. エマージェンシーバッグについて

①緊急・災害時に備えて、小中学部では児童/生徒各自がエマージェンシーバッグを準備し、学校に設置する。バッグは両手を自由に動かせるようリュック型のものを使用すること。中身は次の表のとおり。

②編入後1週間以内に、子供に持参させ、学級担任に提出すること。

③幼稚園児については、幼稚園が用意をするため不要とする。食物アレルギーがある場合は、非常食のみについて保護者が事前に準備をしておき、担任に保管を申し出ること。

エマージェンシーバッグの中身	
① 水（スポーツ飲料でも可） 2本	⑤ バンドエイド（大） 3枚
② グラノラバー（乾パン・ビスケット等） ※ピーナッツフリー 適量（4本程度）	⑥ 名前と学年を書いた紙1枚 （バッグの中に入れ、字がよく見えるようにする）
③ タオル 1枚	⑦ 防寒用上着 1枚
④ ポケットティッシュ 2個	⑧ マスク 1個

9. 情報誌・ホームページ等への写真の掲載について（お願い）

本校の教育活動の様子をより理解していただくための広報活動の一環として、本校ホームページや本校オフィシャルSNS（Facebook, Instagram）、ならびにLAのコミュニティ雑誌（主に「ライトハウス」誌）に、学校生活の様子を若干の画像や動画で公開しております。ウェブサイトに掲載した内容は、学校関係者だけでなく、一般の人からも閲覧するため、園児・児童・生徒の写真・動画の扱いにおいては、氏名と顔を一緒に載せない、画像サイズを小さくする、顔の判別が明瞭な場合には別途文面と合わせ写真使用の理解を求めると、さまざまな配慮をしてトラブルの発生を極力防いでおります。

今後も学園の発展、振興のために公開していく予定ですので子供たちを撮影した写真や動画をホームページ等に掲載することについて、承諾いただきますようお願いいたします。承諾されない場合は、別途所定の用紙にてその旨お知らせください。なお、また、承諾いただいた場合でも、掲載後、特定の写真掲載の中止を希望される場合は適宜対応しますのでご連絡ください。

Ⅲ 学校生活に関する規定

1. 就学に関わる規定

(1) 出欠に関する規定

- ①出欠席 登校時間から下校時間までの間に一部でも登校があった場合を出席と記録する。
- ②遅刻 朝の会開始時点で登校していない場合、遅刻と記録する。
交通事情は考慮しない。ただし、事故や災害などによる予期できない特別な事情の場合には、遅刻扱いとしない場合があり、当日中に保護者から学級担任に事情を含めてその要請をすること。
- ③早退 帰りの会終了以前に下校した場合、早退と記録する。
- ④公欠 試合・入試 等学校長が認める場合、出席したものとして取り扱う。
- ⑤出席停止（出停）
下記の感染症に罹患した場合は、感染拡大防止の観点から一定期間の出席停止とし、登園/登校することができない。出席停止の日数は、出席しなければならない日数から減じる。
(例：授業日数190日、インフルにより出停3の場合、出席すべき日数は187となり、教務上欠席していない扱いになる)
- ⑥忌引
次に該当する親類に不幸があった場合、所定の届け出をもとに、欠席した日数のうち、規定の日数を上限として登園/出席すべき日数を減じる。
1親等 5日 2親等 3日 3親等 1日
- ⑦長期欠席
6か月間を目安とする長期にわたって欠席する場合は、幼稚園は園長、小中学部は校長の判断により、当該園児・児童・生徒を退園/退学とする場合がある。

以上について保護者は所定の手続きをとることとする。

- ①～③：できる限りその前日までに保護者ページから、急な場合は当日の8時から8時15分までに電話にて。
④～⑦：Ⅱ-3 各種届出事項について、を参照。

(2) 校時表（小中学部）

安全で円滑な登下校のため、定められた時間を守ることに。特に、定刻よりも早い時間には来ないこと。

小学部			中学部		
登校・準備	8:10～8:20	下校時刻※ 1-4年 / 56年	登校・準備	8:10～8:20	下校時刻※
朝の会	8:25～8:35	—	朝の会	8:25～8:30	—
1	8:35～9:20	—	1	8:30～9:20	—
2	9:30～10:15	—	2	9:25～10:15	—
中休み	10:15～10:35	—	3	10:25～11:15	—
3	10:35～11:20	—	4	11:25～12:15	12:30
4	11:30～12:15	12:35 / 12:30	昼休み	12:15～12:55	—
昼休み	12:15～13:00	—	清掃	12:55～13:10	—
清掃	13:00～13:15	—	5	13:10～14:00	14:15
5	13:20～14:05	14:25 / 14:20	6	14:10～15:00	15:15
6	14:15～15:00	15:20 / 15:15	7	15:10～16:00	16:15
7	15:10～15:55	16:15 / 16:10	終わりの会	16:00～16:05	16:15
終わりの会	15:55～16:05	16:15 / 16:10	8(補習)	16:10～16:55	16:55
8(補習)	16:15～16:55	16:55			

※下校時刻：表記は、その時限で終了した場合の標準下校時刻。詳細は学校通信・浪漫飛行および学級担任が発行する学年通信にて確認。

(3) 登園・降園の時刻（幼稚園）

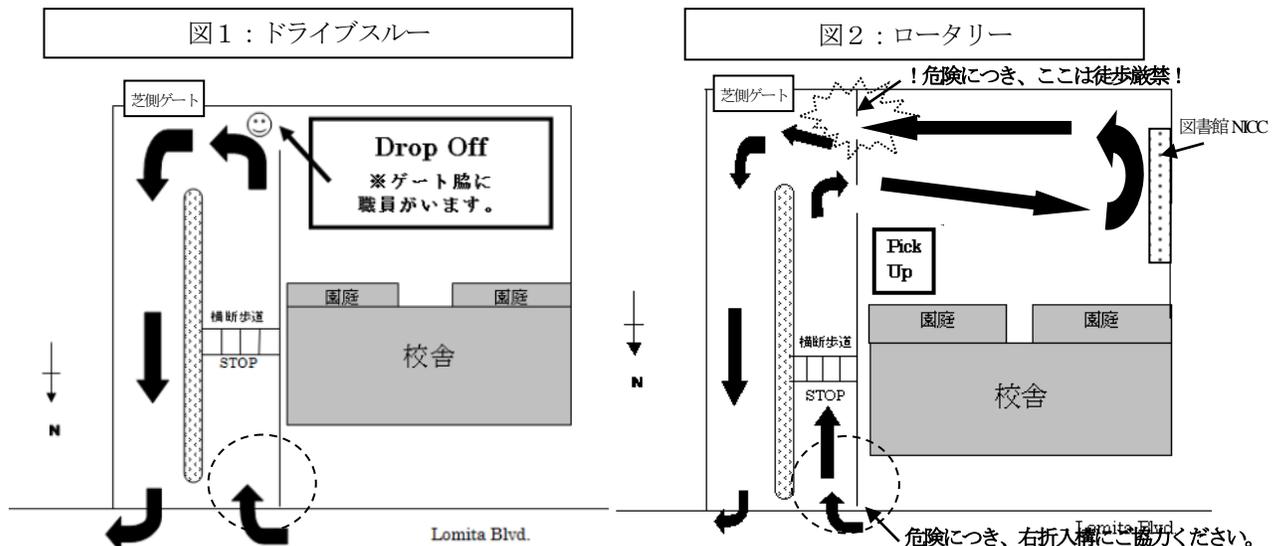
安全で円滑な登降園のため、定められた時間を守る。特に、定刻よりも早い時間には来ないこと。

クラス	兄弟関係対象 朝の受け入れ	通常の登園・保育・降園	午前保育日
入園準備 ひよこ教室	8:20～ 駐車し徒歩でゲートまで ㊦年少中間の兄弟の場合、年少 中の登園時間に受け入れ	(8:50～9:00 登園)9:00～14:40(14:40～14:50 降園)	なし
年少 ちようちよ組	8:20～ ㊦年少一年中間の兄弟の場合、 年中の登園時間に受け入れ	(8:40～8:50 登園)8:50～14:40(14:40～14:50 降園)	11:55 降園
年中 たんぽぽ組		(8:30～8:40 登園)8:40～14:50(14:50～15:00 降園)	12:05 降園
年長 ひまわり組	小中に兄弟がいる場合 8:20～	(8:20～8:30 登園)8:30～15:00(15:00～15:10 降園)	12:15 降園

(4) 降園・登下校の方法

(ア) 全般に関わること

- ①登降園/登下校は保護者による送迎とし、子供だけで登下校させないこと。
- ②登降園/登下校において、子供は教職員の補助のもとで乗車/降車をする。保護者は車を降りないこと。
ただし、ひよこ教室は駐車の上、保護者が子供をゲートまで徒歩で連れてくること。
- ③経路は下図1 ドライブスルー，下図2 ロータリーのように大きく2通りとするが、各日、教職員またはセキュリティガードマンの誘導に従う。
- ④他の保護者が送迎をするときは、必ず事前に担任に連絡をしておくこと。



(イ) 登園/登校に関わること

- ①8：00以前は学校敷地内（駐車場を含む）に入らないこと。
- ②登校のためのアスファルトグラウンドゲートの開門時間は8：00とする。
- ③小中学部は、8：20以降は、保護者が事務局まで引率すること。

(ウ) 降園/下校に関わること

- ①ひよこ教室、年少、年中はデジタルサインアウトを必須とする。方法等詳細は、別途案内。
- ②駐車し徒歩でお迎えを希望する場合は、安全のため先の図1，図2における芝側ゲートを利用すること。
- ③下校時刻後は速やかに帰宅すること。特に17：00以降は、保護者同伴であっても学校敷地外に速やかに出ること。
- ④保護者は必ず下校時刻に子供を迎えに来ること。降園/下校時刻に10分以上遅れた場合はに遅れた場合は、レイトフィーとして\$7/15分を授業料と共に徴収する。（毎月20日締）

This is the confirmation to the school's policy regarding late pick-ups. Day care service for elementary and junior high school students is not provided by NAC. All elementary and junior high school students must be picked up at the times designated for school dismissal. Please inform an office staff or the homeroom teacher when you are late picking up your child. A late fee will be charged accordingly. (\$7/15mins)

⑤雨天時は図2を基本とし、図書館 NICC より乗車する。

⑥災害時の下校については〈巻末別表3〉参照

(5) 非常時の降園/下校

①豪雨 子供の安全な降園/下校のため、定時を早め、下表を基に時差にて降園/下校を行う。

・実際の時刻の通知はテキストとEメールにて連絡する。

・通知された時刻よりも早く到着しない。

・方法は図2とし、図書館 NICC から乗車する。

学年	降園下校時刻例	備考
年少	13:00 (昼寝前)	・幼稚園のみの兄弟関係の場合は、遅い時間に合わせて迎えに来る。 ・幼稚園と小中学部にまたがる場合は、 <u>園児を先に迎えに来て、車中にて待つか、一度外に出る。(駐車場で遊ばせない)</u>
年中	14:40	
年長	14:55	
1～4年	15:10	・小中の兄弟関係がある場合は、遅い時間合わせて迎えに来る。
5～6年	15:25	
7～9年	15:40	

②その他災害等

・状況に応じて学校からテキストとEメールにて連絡する。

・学校からの正常な連絡機能確保(救急・警察・消防への出動要請等)のため、保護者から学校へは極力連絡を避ける。

・災害時対応の詳細については、〈巻末別表3〉参照

(6) 待機教室について (小中学部)

保護者送迎負担軽減のため、待機教室を開室し、次の条件を満たすNACの児童/生徒が利用できる。教育活動ではないため、集中力の低下などから事故等につながることを懸念し、利用時間は1時間(1授業コマ時間)を超えないこととする。ただし、学校行事等のため開室されない日もある。申込不要。

①場所：年度初頭に曜日ごとに定め、児童/生徒に案内する。必要に応じて変更される。

②利用するための条件

・小中学部に兄弟姉妹が在籍しており、下校時刻の差あって、それが1時間(1授業コマ)以内であること。

・監督者の指導を必要とせず、1人で静かに自習や読書等をしながら待つことができること。

・おやつなど食事をしないこと。

・下校時は、遅く終わった児童/生徒が、待機している児童/生徒をその教室まで迎えに行くこと。

③待機教室が開室されない場合および特別に開室される場合

待機室がない場合	理由
職員会議日の午後補習	待ち時間が2時間以上
成績会議	全教員が会議に参加し、個人情報扱うため
夏季補習	教職員が変則的勤務のため
宿泊行事・運動会・文化祭の予行日や本番前日	全教職員が事前準備を行うため
マラソン大会など	現地解散のため
ロックダウンなどの緊急時	緊急時に子供の安全を優先するため
式典の際	教職員全員で式典準備をするため
英語 Tutoring を待つ場合	学校とは別組織の運営で、個人の都合により申し込むため
駐車場ですぐ待てないか・・・子供の安全を考えるとお勧めできないが、駐車場でお待ちいただいても構わない。但し、駐車場で遊ばせず、保護者の責任下で安全を管理をすること。	
行事等であっても待機室がある場合	
通常校時や新学期開始時で時差1時間以内の場合・遠足や校外/宿泊研修の終了後時差1時間以内	

④利用可否の例

- ・6限で下校になる1年生の弟と、7限で下校になる3年生の兄の場合、7限目に弟が待機教室を利用できる。
- ・7限で下校になる4年生の妹と、8限補習のある8年姉の場合、8限目に妹が待機教室を利用できる。
- ・8限補習のある妹と、定期考査前期間で7限で下校になる兄の場合、8限目に兄が待機教室を利用できる。
- ・6限で下校になる1年生弟と、8限補習のある7年姉の場合、2授業コマ空きになるため、利用できない。
- ・6限で下校になる1年生、7限で下校になる3年生、8限で下校になる8年生の場合、1・8年は2授業コマ空きとなるため、1年生が8年生を待つことはできず、2回のお迎えが必要。
- ・兄弟姉妹でない場合は利用できない。

可否に関する問合せは担任まで。

(7) 長期休業期間

夏季休業：7月15日前後～8月末、 冬季休業：12月15日前後～1月7日前後

春季休業：3月15日前後～4月7日前後 (詳しい日程は、年間行事予定表を参照のこと)

(8) 学級閉鎖について

- ①小中学部：学校感染症を含む病気の蔓延またはそれが懸念される場合、学校長が、在籍人数の1/3を基準（人数が少ない学級はこの限りでない）として学級閉鎖措置をとる。閉鎖・再開の通知を別途学校から保護者に行う。
- ②幼稚園：感染症および病気の蔓延状況を鑑み、園長が閉鎖・再開共に判断し、保護者に通知を行う。

2. 教務に関わる規定

(1) 小学部および中学部成績の通知について

- ①成績については、絶対評価とし、小学部1・2年は1～3の3段階、小学部3年から中学部3年生は1～5の5段階で評価する。
- ②イマージョン教科については、言語力評価と教科の評価は独立して行い、英語力が教科評定に著しい影響がないように行う。
- ③成績の通知は、各学期に「通知簿」をもって行う。

(2) 小学部5・6年 校内実力テストについて

2月中旬～下旬に実力テストを行う。成績に関する通知は個票をもって行う。

(3) 中学部定期考査について

- ①定期考査を次の通り実施し、成績評定の重要指標として取り扱う。実施時期は目安。
第1学期 中間考査（5月中旬）、期末考査（6月中旬または下旬）
第2学期 中間考査（9月中旬）、期末考査（11月中旬）
第3学期 学年末考査（2月中旬（中学部3年生は実施しない））
- ②イマージョン教科のテストは、言語力により2種類の形式で出題する。本校の英検学習の学習級が5・4・3・準2級の者については、日本語訳の語彙表をつけた試験、それ以外の学習級の者については全文英語の試験を実施する。但し、学習級と所持級が異なる場合は、所持級を優先する。

(4) 進級認定、卒園/卒業認定

進級、卒園及び卒業の認定は、規定の日数登園・登校し、相当の課程を修めたものと認めたときに、幼稚園は園長が、小中学部は校長が行う。

3. 校則

学校および幼稚園は、本校の教育方針（**1**－2）および指導方針（**1**－3）に沿って、子供たちが健全で伸びやかに、より多くの教養を身に付け、人格を向上させ、学友と協力して明るく平和な学校生活を送ることができる場ではなくてはならない。また、次代のグローバルリーダーたる子供たちにとって、学ぶこと（学業）により専心できるような環境を子供、保護者、教職員が一体となって作り上げていかなければならない。

(1) 生活態度

言葉遣いや態度は、常に誠実さと気品を保ち、自分の言動に対しては、責任を持たなければならない。

- ① あいさつを励行し、感謝の気持ちをもって人に接する。

- ② 言葉遣いは、はきはきと明確にし、粗野に流れないこと。
- ③ 常に身の回りを整頓し、自分のものも公共のものも分け隔てなく大切にす。
- ④ 時間を守り、何事も5分前精神を励行する。
- ⑤ 年長者には礼儀正しく尊敬の念をもって接し、友人後輩には思いやりの心を持ち、好ましい人間関係を築く。

(2) 所持品

幼稚園生活・学校生活および各授業において定める学習に必要なもののみを所持することとし、それに当たらないものが学校に持参しない。また、所持品は、品位を失わず（単語や文章、形など教育現場に相応しいもの）、効果的に学習できる品物をもつように心掛けること。

- ① 所持品には、すべてしっかりと記名すること。（特に幼稚園は、クレヨン1本など細かいものも含める）
- ② 紛失・盗難・拾得については、すぐに学級担任に届けること。
- ③ 特に、携帯電話やスマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末等、電子機器の類は持参しないこと。
- ④ 金銭の授受、貸し借りをしないこと。
- ⑤ 物品の交換をしないこと。（金銭の授受と同等の行為）

(3) 服装

学校生活ではじめをつけ、学習・活動を促進・充実させ、自主自立する子供たちの育成を目的として、次の通り制服および指定体操服を定めるものとする。

①制服

制服は取扱業者より各家庭が直接購入する。（金額・購入方法は〈巻末別表1〉参照）

	男子 全学年	女子 幼～小学2年生	女子 小学3年～中学3年
制服トップス (必須)	半袖ロゴ付白ポロシャツ	ロゴ付白セーラーブラウス または 半袖ロゴ付白ポロ シャツ	半袖ロゴ付白ポロシャツ
制服ボトムス (必須)	紺色長ズボン または 紺色半ズボン	・ジャンパースカート	チェックプリーツスカート または 紺色スカート
制服その他 (自由)	<ul style="list-style-type: none"> ・長袖ロゴ付白ポロシャツ ・NACパーカー（前ジッパー）ロゴ付 ・NACカーディガン（前ボタン）ロゴ付 ・（女子用）バイクショーツ ・（女子用）小学3年～中学3年 ロゴ付白セーラーブラウス ・（女子用）各種ヘアアクセサリ 		

②体操服

体育の授業を行う日は、体操服で登下校するものとする。

学校指定の青いNAC-Tシャツ、グレーのNAC-ショーツとする。

事務室にて所定の用紙の提出をもって購入することができ、料金は授業料と共に後日引き落とし。

③服装に関わる諸規定

- ・幼稚園児の着替えについて、園庭遊びや、体育的な活動や昼寝の際、担任が内容にあわせてその都度スモックや体操服（NAC-Tシャツ、NAC-ショーツ）に着替えさせる。
- ・安全面に考慮して、体育や外遊びの際は、積極的に帽子を着用する。
- ・靴・靴下・通学カバン・帽子（幼稚園は指定のもの）・ベルト等は学校指定ではなく各自自由とする。
- ・女子のスカートの丈は膝が隠れる位を基本とし、短くなりすぎないこと。また、ジャンパースカートやスカートの下にはバイクショーツ（学校オプションかまたは自由）を着用のこと。
- ・ポロシャツの下は各自判断でタンクトップやランニングなどの下着を着用する。
- ・女子で、長ズボン・半ズボンを希望すれば着用することができる。
- ・児童/生徒の冬季の上着については、オプションのロゴ入りパーカーかカーディガンか、黒・紺・グレーの私服を着用すること。また、ロゴ付き長袖ポロシャツも購入着用できる。また、**式典での上着を着用する場合は、これに準ずることとする。**
- ・児童/生徒の冬季の制服の着用については、白ポロシャツ(半袖)の下に長袖シャツの重ね着も可能。ズボンやスカートの下にタイツやスパッツ・レギンズの重ね着も可能。その際派手な色や柄ではないものを合わせ

ること。

- ・児童/生徒の冬季の体育の授業では、体操服の着上として着用するものは、動きやすく、黒・紺・グレーの色のものとする。体操服のズボンについては、動きやすく、黒・紺・グレーの色のものとする。
- ・行事等（生活発表会/NJCF日本文化祭、ハロウィンイベント等）で変更がある際には、事前に通知される。
- ・フリードレスデー

児童会・生徒会企画の一環などで、私服にて登校できる日（私服デー）を設けることがある。（事前通知有）

(4) 問題行動

①問題行動とは

暴力に当たる行為、授業の妨害に当たる行為等、円滑な学校生活に反する行動や自身を含め他者の学習環境を害するような行動を指す。

②問題行動に対する指導（生活指導）※1

問題行動を起こしてしまったことを振り返り、その原因やふせぐ方法などを省みる機会を持つことで、道徳心を養い、さらなる成長を期待するために行う。幼稚園および学校は子供の指導に当たる際、次に留意する。

- ・すべての子供が成長過程である前提に立ち、起こった問題行動について、当人のみでなく、直接関わった他の子供および学級、もしくは幼稚園/学校全体にとって学びの教材とする。
- ・一方だけでなく、双方および必要に応じて周囲からも聞き取りを行い事実の確認を丁寧に行う。
- ・指導を行った際は、その子供に行った指導の内容等を保護者に報告する。

しかしながら、問題行動の内容、指導後の改善の度合いや頻度に応じて、重く受け止めなければならない場面もあり、内容に応じて以下段階的に指導水準を高める。停学または退学に処する場合もある。

【問題行動における段階的指導 Discipline Procedure】

- (第1段階) 学級担任による園児・児童・生徒への指導（指導内容：訓戒、反省文、生活習慣改善等）
- (第2段階) 学級担任による園児・児童・生徒への指導および家庭への改善指示
- (第3段階) 管理職員（園長、教頭/校長）による園児・児童・生徒への指導および家庭への改善指示
- (第4段階) 停学処分
- (第5段階) 退園・退学処分※2

※1 問題行動の要因として、発達障害や心理的配慮を要すると学校が懸念した場合は、各種専門機関でのカウンセリング、エイドの配置（家庭負担）、各種療育プログラムのサポート等を受けるよう要請する場合がある。

※2 退園・退学処分は、本校の指導を通じて評価できるほどの改善が見られない場合、またはその後においても改善の期待ができないと学校が判断したやむをえない場合に、実行される。

③いじめ

いじめとは、他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（いじめ防止対策推進法第二条より抜粋）
本校では、いじめについて、問題行動の中でも相手の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることと捉え、すべての園児・児童・生徒がこれを理解し、いじめを行わない。いじめとされる行為があった場合は、段階的指導に依らず、厳しい態度をもって指導を行う。

ただし、加害者側が過ちに気づき、反省し、すぐに謝罪と行動の改善、さらに良好な関係の構築がなされた場合に限り、その問題行動をいじめではないと学校によって再定義され、通常的生活指導を継続して行う。

(5) 特別活動

①児童会・生徒会活動

児童会・生徒会は西大和学園カリフォルニア校に在籍するすべての児童・生徒が属し、自主的活動により児童・生徒における相互の団結と親睦を図りながら、よりよい校風を樹立し、児童・生徒一人一人が清く明るく豊かな学校生活を送ることを目的とする。

本校の児童会、生徒会活動の規定は以下の通りに定める。

- I 児童会・生徒会執行部をNACS（NAC Student Council、なっくす）と称し、以下の委員会を置くものとする。
・文化図書委員会 ・環境美化委員会 ・生活体育委員会 ・選挙管理委員会（独立）
- II NACSと委員会の任期は前期・後期2期制とし、詳細は学校長が定める。
- III NACS会長、副会長、役員について
 - (ア) 小学部会長は小学部5，6年より1名、中学部会長は中学部より1名をそれぞれ選挙で選出する。
 - (イ) 小学部副会長は小学部5，6年より1名、中学部副会長は中学部より1名をそれぞれ選挙で選出する。
 - (ウ) 小学部役員は小学部5，6年より1名、中学部役員は中学部より1名をそれぞれ選挙で選出する。

- IV IIIおよび各委員会委員長の選出は、選挙管理委員が1学期初頭、2学期初頭にそれぞれ選挙日程の告示を行い、それに従って、立候補および、小学部4年生から中学部3年生の投票によって行われる。
なお選挙管理委員は、NACSに立候補をできないものとする。
- V 選挙管理委員は、小学部4年生以上の各学級から1名を選出する。委員長は担当教諭と委員との協議によって選出する。
- VI 各委員会委員長（選挙管理委員長除く）の選出は、IVと同様選挙日程の告示内容に従う。
- VII 各委員の中学部副委員長、小学部委員長、小学部副委員長は担当教諭立会いの下、中学部委員長主導による委員の協議によって選出する。
- VIII 各役職に欠員が出た時は、現職の職位を順に繰り上げ、不足した役職をIV～VIIに沿って選出する。

②クラブ活動

活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てるため、特別活動としてクラブを設置する。諸規定は次のとおりである。

- ・クラブ活動の名称および実施内容は、半期ごとに学校が定める。
- ・各期初頭に希望調査を行い、入部決定後は、転部を認めない。

4. 学校生活に関わる諸規定

(1) 飲食物について

〈重要事項〉

- ・アレルギーの観点から、飲食物の交換は絶対にしないこと。
- ・アレルギーの観点から、西大和学園はピーナッツフリーとする。ピーナッツが含まれるものは昼食やスナック等に持ってこないこと。（他のナッツ類は持ち込まないことを推奨する。）

①飲料

各自準備すること。「水」または「お茶」のみとし、牛乳、ジュース、コーヒーなど他のものは不可とする。飲む量に合わせて、各自予備を準備しておくこと。

②昼食

食べきれる量を各自持参すること。持参がない場合（家に忘れてきた等）は、保護者連絡の上、保護者が学校に届けること。箸、スプーンなどの食器も各自持参すること。

また、夏季は保冷剤を添えるなどで、子供が安心して食事ができるような工夫をされたい。

特に幼稚園年長組は、1人が座れる敷物を持たせ、自身で敷き畳みができるよう、家庭で練習をしておくこと。

③スナック（放課後の間食）（小学部・中学部）

補習授業は本科授業のあと夕刻に行われる。空腹による集中力の低下を避けるため、終わりの会の後、8限補習授業が始まるまでの時間に間食をすることを認める。詳細は、学級担任より指示をする。短時間で食べることになるため、ガム、あめなど時間調整しにくい食べ物をもってきてはならない。待機教室利用者は間食を認めない。

④おやつ（幼稚園）

午前中に食べるため、昼食に影響が出ない程度の量とし、フルーツ類を推奨。チョコレート、ガム、キャンディーは禁止。

(2) 保健室のベッド利用について

必要に応じて体調不良の子供を保健室ベッドで静養させる場合がある。ベッドの衛生を保つため、利用した子供の保護者は、そのシーツを洗濯し、学校に返却しなければならない。

(3) 校内電話の使用について

子供が緊急に家庭に連絡を取る必要がある場合、子供から事務職員に申請し、電話を使用することができる。一回につき現金で25¢を徴収する。翌日中に、子供が事務局にお釣りの無いよう持参する。

IV 各学部からのメッセージや方針など

1. 幼稚園

(1) 入園、転編入園する皆さんおよびご家庭へ（園長よりメッセージ）

ご入園おめでとうございます。保護者の元を離れ、幼稚園という新しい社会での生活が始まるお子さんも多いことでしょう。幼児期に大切なことは、人としての基礎を習得することにあります。本園では、知・徳・体のバランスの取れた保育を楽しみながら学ぶことに主眼をおいていきます。また、幼児期は、誕生し自分中心であった概念から、初めて他者を意識し、社会性やコミュニケーションスキルを体得していきます。その中で意志疎通がうまくいかず、トラブルになることはよくあることです。私たちは、それらを学びの教材とし、年齢に応じ子供たちが自分で考え、解決していける力を育てます。幼稚園生活で子供たちが心身ともに健全に成長していくことは、園と家庭が協力しあってこそです。風通しの良い環境の構築を大切に、常に子供に寄り添うと共に保護者と園も強い連携を取っていきましょう。21世紀に生きる子供たちがここで過ごせてよかったと思う幼稚園でありたいと強く感じています。

(2) 身に付けさせたい生活習慣

基本的な生活習慣（起床・洗顔・排泄・食事等）は、家庭でのしつけが大きく関係します。しつけは、子どもが人間関係や社会生活を円滑に営むための基本となるものです。規則正しい生活習慣および生活時間を守る習慣は一朝一夕でできるものではありません。子どもは親の背中を見て育ちます。親も実践し、共に取り組んでいきましょう。

①あいさつと返事

朝、帰宅時、先生や友達に会ったら「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」。名前を呼ばれたら「はい」。率先した挨拶は、その一瞬我を抑え、ひいては素直な心を芽生えさせることにつながります。

②自分から話す・伝える

体のどこかが痛い時、けがをしてしまった時、粗そうをしてしまった時など、人の助けが必要な時に、自分から言えるよう援助するところから始めてください。また、自分が思ったことや意見が言える“コミュニケーション”は生きていくうえで非常に大切です。保護者は言い当てるのではなく、たとえ気付いていたとしても子どもの発想や考えを受け入れ、子どもからの声を拾いあげる働きかけをしてください。

③物を大切にする姿勢

現代は、限られた資源を如何に有用に使うかが世界的課題となっています。持続可能な社会の実現に向けて、身の回りの物（玩具や文具）や資源（水や紙等）、さらには公共の設備（机や園舎等）を普段から大切に使う意識が大切です。1つ1つに名前を書くことも、物をなくさないという点において、物を大切にする態度に直結します。金銭の問題ではなく、長い目、広い視野をもって家庭でも実践してください。

④衛生意識（手洗い・うがい）

外出から帰ったら必ず手洗い・うがいを励行し、衛生的な生活習慣を身に付けさせてください。また、積極的に屋外へ出て、運動し、体力の向上に努めてください。

⑤食事・おやつ

朝食は必ずとらせてください。大人が率先して子どもとの楽しい食事の環境作りを心がけてください。同時に、食べる姿勢や箸の持ち方、上の年齢では、食事の準備や片付けや自分が食べられる量を把握し完食することを目標とするなど、食事に関わる基本的なことはマナーにも繋がっていきます。家庭でも約束事を決めて取り組んでいくと良いでしょう。おやつも予め分量を決めてだらだらと食べることをないようにしましょう。

⑥トイレの使用について

水を流すこと、トイレットペーパーの使い方、服を全部脱がずに使用できる方法など、トイレの使い方や自立に協力してください。

⑦早寝、早起き

子どもに必要な睡眠時間（最適な就寝時刻）を把握し、ゆとりをもって朝の準備ができるようにしてください。十分な睡眠は、子どもの心身の成長に大きな影響を及ぼします。幼稚園での活動意欲の向上、小中では学力が上がるのが期待できます。

⑧自分の名前の読み書き（年長）

年長の4月時点では、ひらがなで自分の名前が書けるように練習させてください。両親の姓名もはっきり言えるようにしておくこと、なおよいでしょう。

(3) 幼稚園に必要なもの

以下、細かなものも含め**すべてのものに記名**すること。

(ア) 幼稚園が準備するもの（後日引落）

①連絡帳 ②シール帳とそのシール ③カラー帽子（学年持ち上がり）

④ワークブック類

- ・年少：運筆練習、ひらがな
- ・年中：ひらがな、かず
- ・年長：ひらがな、かず、カタカナ

(イ) 家庭が準備するもの

年少	年中	年長	準備物	備考	
○	○	○	通園用靴	大きめの自分で背負えるリュックサック	
○	○	○	お持ち帰り用靴	体操服、絵本、作品、お昼寝セット等の持ち帰られる大きめのもの	
○	○	○	上靴	紐靴以外で履き替えやすいもの、クロックスやビーチサンダル不可	
○	○	○	上靴袋	大きすぎず、出し入れが自分でできるもの	
○	○	○	着替え	パンツ2枚、体操服1セット、年少は靴下2足	
○	○	○	スモック	製作等で汚れてもよい上から着重ねるもの	
○	○	○	エプロン・三角巾	クッキング用（事前に担任よりクラスだよりを通じて通知）	
△	△	△	ハンドタオル	ペーパータオル使用のため2024年度不要。時期等を鑑み、必要に応じて汗拭き用として別途担任より持参の指示	
○	○	○	歯磨きセット	歯ブラシ、プラスチックコップ、（歯磨き粉：各クラスより別途指示）	
○	○	○	筆箱	・年少：2B鉛筆×1～2本、よく消える消しゴム ・年中・年長：2B鉛筆×3～4本、よく消える消しゴム キャップ不可、不要なものを入れないように	
○	○	○	お道具箱	縦27cm×横35cm×深さ8cm以内。レターサイズ用紙が折らずに入られて、蓋が本体と重ねられるもの	
○	○	○	お道具箱の中に	粘土セット	油粘土（やわらかめなので）、粘土板、粘土ヘラセット
○	○	○		クレヨン	オイルクレヨン
○	○	○		色鉛筆	年少は12色まで、年中・年長は16色程度
○	○	○		のり	でんぷんのり（ゆびですくってつけるタイプ）、補充は都度園が行う
○	○	○		お絵かき帳	レターサイズ程度
○	○	○	はさみ		
○	△	△	お昼寝用タオルケット	年中は1学期のみ	
○	△	△	お昼寝コットシート	年中は1学期のみ（事務室にて販売有）	
○	○	○	予備のマスク	感染症蔓延予防等のため	
○	○	○	弁当・おやつ	自分で出し入れ、開閉ができるもの	
○	○	○	水筒	自分で開閉し飲むもの	
○	○	○	敷物	一人が座れるサイズのピクニックシート。自分で敷き畳む練習を。	
○	○	○	水のペットボトル	補充用として、500ml程度のサイズで未開封のもの2本	
○	○	○	雑巾2枚		

(4) 教育活動上、園生活上の諸事項

①健康状態の視診

低年齢の場合は、自身の体調不良に気づけないことや言葉で伝えられないことも多いため、保護者は登園前に必ず健康状態を視診し、必要に応じて体温検査を行うなどし、健康な状態を確認の上で登園させること。

②持ち帰り

- ・毎週金曜日に持ち帰り、翌週月曜日に持参。
カラー帽子、上靴、上靴袋、お持ち帰り用靴、お昼寝セット（年少組と1学期の年中組）
- ・使用後に持ち帰り、都度持参するもの
スモック、汚れた着替え、補充用ペットボトル

③お昼寝

年少組の全期および年中組の1学期間は、昼食後に午睡をする。学校保有のお昼寝用コット（簡易ベッド）にお昼寝用コットシーツを引き、タオルケットをかけて眠る。

④トイレトレーニング

年少組ではおむつが外れていない園児に対し、教員がおむつ交換とトイレトレーニングの援助を行う。
（トイレトレーニングは別途引落にて費用を徴収する。週5-\$40）

⑤左ききについて

日本の文字は本来右きき用にできており、確かに左手では書きにくいことは否めませんが、無理に右手に矯正をしようとすると、かえって普段の遊びや生活が消極的になってしまう心配もありますので、園は矯正指導や促しはしません。

⑥サインアウトについて

カリフォルニア州の保健局の定めにより、年少組・年中組の保護者の登園、降園時は保護者の確認が必要です。
また、保護者以外の方に代理で送迎を依頼する場合は、必ず事前に事務局またはクラス担任にお知らせください。

2. 小学部

(1) 入学、転編入学する皆さんへ

(ア) 小学部に入学する皆さんへ（新1年生）

ご入学おめでとうございます。新たに始まる漢字の学習では、文字の成り立ちや正しい字形して書くことなどを通して、より多くの文章に親しむための礎を築いていきます。西大和学園の楽しくも丁寧な指導は、それを難なく乗り越えさせてくれ、これからの長い長い学びのすべてにつながる貴重な経験となります。小学生になれば、時間割をもとに動く生活をはじめ、これまで褒められていたことが当たり前として扱われる大きな変化と戸惑いを感じるようになるでしょう。その変化の連続は、奇しくも子供たちを強くたくましく育てる糧となります。私たち教職員は一丸となって、そんな子供たちを導き、背中を押し、時には伴走しながら、全力で育んでいくことを決意いたします。

(イ) 小学部1・2年生（低学年）の皆さんへ

1・2年生はともかく伸びやかに。思ったこと、やりたいこと、知りたいこと、わくわくすることに正直になり、全力で毎日を楽しんでください。なんでもやってみてください。西大和学園の教職員ならびに高学年のお兄さん、お姉さんたちは皆さんを温かく見守り、時には社会の先輩として叱咤激励しながら、楽しく学びのある日々を応援していきます。また、クラスのお友達を大切にしてください。時にけんかをするがあっても、必ず仲良くなれる方法があります。「早く、学校に行きたい」そう思える学校を一緒につくっていきましょう。

(ウ) 小学部3・4年生（中学年）の皆さんへ

理科・社会が始まり、日本のことや自然で起きていることへの発見や理解が深まる時期です。覚える漢字も増えますが、その分、より多くのことを考えたり知っていることを組み合わせて別の見方ができたりと楽しいことが盛りだくさんです。一方、自分の得意なこと、そんなに得意ではないなど思うことをはじめ、自分のことがよりよくわかってくるのがこの3・4年生です。また、友達の好きなところ、好きにはなれないところも1・2年生の時よりもさらに分かるようになっていないでしょうか。そんなもやもやが多くあることは間違っていないかもしれません。大いに悩み、友達に相談し、友達に相談できなければ親や兄弟もしくは先生に相談し、自分を大切にしてくれる人がいることを実感しましょう。この時期にしっかりと悩んでこそ、これからがもっと楽しくなります。私たち教職員は、そんな暗中模索ともいえる皆さんをしっかりと守り導きたいと思えます。

(エ) 小学部5・6年生（高学年）の皆さんへ

小学校に入学した時、5・6年生はなんて大きいのだと感じたのではないのでしょうか。今は皆さんが小学部のお兄さん、お姉さんです。これまで学んだことを生かして、小学部のリーダーとして大いに活躍してほしいと思います。とはいえ、まだまだ分からないことも多くあると思います。皆さんの先輩であったこれまでの5・6年生たちもそんな不安を抱えながら、大人から助言をもらって頑張っていたのです。背伸びも失敗も決して恥ずかしいことではなく、大切なのは、それに正面から立ち向かうことではないでしょうか。皆さんの挑戦の先に「わたし」に出会ってくれることを強く期待をしています。

(2) 小学生として身に付けてほしい生活習慣

幼稚園で身に付けておくべき生活習慣を土台として、自我の芽生えや年齢に合わせて、習慣の必要性やその意義を考えながら実践できるよう、教職員ならびに保護者が助言を与えていくことが望ましい。

①あいさつと返事

元気であるだけでなく、その場に合わせた声の大きさや言葉遣いも意識できるようになりたい。子供同士においても、しっかりと挨拶が行えるよう、挨拶の重要性を家庭でも指導してください。

②自分から言えるようになるべきこと

学習の躓きや体調不良など、人の助けが必要なときに、自分から助けを求められるようにする。恥ずかしくて言えないとき、人には聞かれたくないときには、教職員を呼び出すなどで言える環境を作る工夫も必要となる。保護者は、子供が学校で言えずに帰ってきてても、担任と連携を取り本人が言えるよう働きかけてください。

③物を大切にできる態度

現代は、限られた資源を如何に有用に使うかが世界的課題となっています。持続可能な社会の実現に向けて、身の回りの学用品（鉛筆・消しゴム）や資源（水・電気等）、さらには公共の設備（机や園舎等）を普段から大切に使う態度が重要。またたとえ安価であっても、物の貸し借りや授受などに責任が伴うことを、家庭でも指導してください。

④衛生意識（手洗い・うがい）

協働関係の中で、自身以外にも影響があることを気づかせ、予防の重要性にさらに気づくことができるよう、改めて衛生的な生活習慣を身に付けさせてください。

⑤食事・おやつ

朝食は必ずとらせてください。大人が率先してテレビを消し、携帯を置いて、子供と楽しい食事のひと時を過ごしてください。自分が食べられる量を把握させたり、食事の準備や皿洗い・食洗器の使い方を含む食後の片付けなど、小学生にできることは家庭でしっかりと教育してください。

⑥早寝、早起き

健全な心身の成長のため、規則正しい生活を心がけさせ、その意義を家庭でも指導し、必要に応じてルールを設けるなどして、子供に任せきりにしないよう注意してください。

⑦奉仕の精神

例えば家庭内において、ゴミ出しやトイレ掃除など自身がやっていないことは家族の誰かが行ってくれていることへの自覚を促し、それに感謝するとともに、自身もその一員として奉仕を行うこと（共生）の意義を家庭で教育してください。

⑧学習習慣

課された宿題等に対して、無理なく計画的に取り組める習慣を早い段階から身に付けられるよう家庭で指導してください。高学年になれば、委員会等の仕事で、自分で宿題を設定し、期日までに資料を作成するなど、社会では常識的なことが求められます。責務を全うできる人物へと成長できるよう必要に応じて働きかけてください。また、余暇の使い方（携帯やゲームなど）も必要に応じて家庭でルールを設けて子供に任せきりにしないよう注意してください。

(3) 各学年の準備物

すべてのものに記名すること。

(ア) 学校が準備するもの

①教科書 4月入学転編入者のみ学校が準備。それ以外は領事館等に問合せ各自準備。

②副教材 後日引落。内容は次の表の通り。必要に応じて、予告なく採択内容を変更する場合がある。

種別	科目等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
授業用 問題集 /教具	国語	教科書びつたりレ ーニング 国語 (新興出版)						
	文字	漢字の学習 (文溪堂)	漢字のカスキル (青葉出版)	漢字のカスキル (青葉出版)	くりかえし漢字ドリル (教育同人社)	くりかえし漢字ドリル (教育同人社)	くりかえし漢字ドリル (教育同人社)	2年以上は上下刊
		漢検10級過去問題集	漢検9級過去問題 集	漢検8級過去問題 集	漢検7級過去問題 集	漢検6級過去問題 集	漢検5級過去問題 集	アンケート取り、持っている人は購入しない
		たのしくおぼえる ひらがな・すじ (日本標準)	—	ローマ字 (青葉出版)	—	—	—	
	算数	教科書びつたりレ ーニング 算数						
		—	くりかえし計算ドリル (青葉出版)	くりかえし計算ドリル (青葉出版)	くりかえし計算ドリル (青葉出版)	くりかえし計算ドリル (青葉出版)	くりかえし計算ドリル (青葉出版)	上下刊
	算数教具	さんすうランド	九九カード	—	—	—	—	
	理科	—	—	教科書びつたりレ ーニング 理科 (新興出版)	教科書びつたりレ ーニング 理科 (新興出版)	教科書びつたりレ ーニング 理科 (新興出版)	教科書びつたりレ ーニング 理科 (新興出版)	
	社会	—	—	教科書びつたりレ ーニング 社会 (新興出版)	教科書びつたりレ ーニング 社会 (新興出版)	教科書びつたりレ ーニング 社会 (新興出版)	教科書びつたりレ ーニング 社会 (新興出版)	
	ELD	クラス別教材	クラス別教材	クラス別教材	クラス別教材	クラス別教材	クラス別教材	
EIKEN	学習級テキスト	学習級テキスト	学習級テキスト	学習級テキスト	学習級テキスト	学習級テキスト		
単元テスト	国語	国語テストAプラス (文溪堂)	国語テストAプラス (文溪堂)	国語テストAプラス (文溪堂)	国語テストAプラス (文溪堂)	国語テストAプラス (文溪堂)	国語テストAプラス (文溪堂)	
	算数	算数テストAプラス (文溪堂)	算数テストAプラス (文溪堂)	算数テストAプラス (文溪堂)	算数テストAプラス (文溪堂)	算数テストAプラス (文溪堂)	算数テストAプラス (文溪堂)	一・二・三学期
	理科	—	—	理科テストAプラス (文溪堂)	理科テストAプラス (文溪堂)	理科テストAプラス (文溪堂)	理科テストAプラス (文溪堂)	3・4年社会は上下 のみ
	社会	—	—	社会テストAプラス (文溪堂)	社会テストAプラス (文溪堂)	社会テストAプラス (文溪堂)	社会テストAプラス (文溪堂)	
その他	ELD	—	—	—	—	—	—	
	補習国語	—	—	—	—	小学実力錬成エフォー ト国語ステージII	小学実力錬成エフォー ト国語ステージIII	補習希望者のみ
	補習算数	—	—	—	—	標準新演習算数 小5	標準新演習算数 小6	
	夏季宿題 冬期宿題	(夏季教材) (冬季教材)	(夏季教材) (冬季教材)	(夏季教材) (冬季教材)	(夏季教材) (冬季教材)	(夏季教材) (冬季教材)	(夏季教材) (冬季教材)	学年ごとに決定

(補足) ELDの教材は、1学期に開催される ELD Parents' Meeting にて案内される。

(イ) 家庭が準備するもの

1年	2年	3年	4年	5年	6年	準備物	備考	
○	○	○	○	○	○	通園用靴	自由	
○	○	○	○	○	○	筆箱	鉛筆類 (研いでおく)	
○	○	○	○	○	○		消しゴム	においの出るもの・玩具要素・キャラクター物お避ける
○	○	○	○	○	○		定規類 (分けてもよい)	15cm程度×1、30cm×1 (竹製推奨)、三角定規
○	○	○	○	○	○		ネームペン	油性、黒色
○	○	○	○	○	○	連絡帳	保護者&担任サイン欄がある物。5・6年はメモ帳も可	
○	○	○	○	○	○	手紙入れ用ファイル		
○	○	○	○	○	○	下敷き		
○	○	○	○	○	○	体操着入れ	自分で出し入れしやすい布製が望ましい	
○	○	○	○	○	○	キャップ	体育や屋外での活動のためキャップ型が望ましい	
○	○	△	△	△	△	国語辞典	学校のものを使用。購入してもよい。電子辞書可 (自己管理)	
○	○	○	○	○	○	分度器		
○	○	○	○	○	○	コンパス		
○	○	○	○	○	○	ELD バッグ (学校設置用)	Letter 用バインダーが入られる布製、手提げタイプ 中身：バインダー(1.5inch以上)、ヘッドフォン (イヤホン可)、 その他は授業で別添付にて案内	
○	○	○	○	○	○	音楽バッグ (学校設置用)	Letter 用ファイルが入られる布製、手提げタイプ 中身：ポケット式ファイル (楽譜等プリント管理用)、指定楽器	
○	○	○	○	○	○	マウスピース	鍵盤ハーモニカ用。事務室にて販売有。本体は学校貸出。	
○	○	○	○	○	○	ソプラノリコーダー	事務室販売有、	
○	○	○	○	○	○	スマック	図画工作 (ART) 用、習字用として。古着Tシャツ可	
○	○	○	○	○	○	弁当	布巾 (推奨・弁当の下に敷く)、敷物 (外での食事用)	
○	○	○	○	○	○	水筒	足りないことが無いよう、サイズや補充水ペットボトル	
○	○	○	○	○	○	雑巾2枚	清掃用。学期ごとに2枚ずつ目安 (担任より別途指示)	
○	○	○	○	○	○	道具セット	入れ物指定なし。1・2年は箱推奨。消耗品随時補充 中身：のり、はさみ、セロテープ、色鉛筆 (クービー可)、クレヨン	
○	○	○	○	○	○	絵具セット	入れ物指定なし。消耗品随時補充 中身：絵具、絵筆 (大中小)、パレット、バケツ、雑巾	
○	○	○	○	○	○	習字セット	入れ物指定なし。消耗品随時補充 中身：筆 (大、小)、墨汁、硯、文鎮、毛氈 (下敷き)、水差し、 半紙、新聞紙 (作品保護用)	

(ウ) 備考

- ・EIKEN、ELDでは各専用テキストを、必要に応じて学校が準備し随時配付
- ・5・6年 Home Economics (家庭科) は調理実習や裁縫等、単元に合わせて事前に連絡 (近隣で準備できる)
- ・副教材について、兄姉の使っていたものであっても、基本的には新たに購入するものとする。
- ・算数・そろばん学習における「そろばん」は学校の備品を貸し出します。私物の持参は可とする。

(4) 教育活動上、生活上の諸事項

- ①4年生以上は「特別活動」の授業内で、クラブと委員会を隔週で行う。
- ②5・6年生は月～木曜8限目に、専用の教材で演習を行う国語・算数の補習が開講される。希望制。費用不要。
- ③ELDは1・2・3年生、4・5・6年生をそれぞれABCの3レベルに分け、習熟度別に学習する。クラス分けは、
〈巻末別表3〉に基づいて行われる。
- ④宿泊行事として6月～8月 (夏季休業以外) のいずれかに野外活動合宿を実施する。5・6年対象の学校行事とし、基本的に全員参加とする。

3. 中学部

(1) 入学、転編入学する皆さんへ

西大和学園カリフォルニア校中学部へようこそ。学校の教育方針を理解し、自身の未来に希望をもって、何事にも全力で取り組んでくれることを期待します。自身が望む在りたい「わたし」を見出し、自身が誇れる学園生活を送ってください。学習面では進学のことを常に意識し、学校生活面では学校全体のリーダーとして委員会や行事運営の成功に尽力することになるでしょう。責任やその重圧もありますが、仲間と支え合いながら、是非乗り越えてほしいと思います。その乗り越えた分だけ、一生の思い出や自分の誇りになっていつまでも自分の中で輝き続けてくれることを約束します。共に、素晴らしい学校を創っていきましょう。

(2) 中学生として求められる習慣

小学部で身に付けておくべき生活習慣を土台として、中学卒業後の自立を目指して、習慣の必要性やその意義を自ら見出しながら実践できるよう、教職員ならびに保護者が助言を与えていくことが望ましい。

①礼儀・礼節

とくに大人や上級生との会話の中では丁寧語、尊敬語、謙譲語を使い、また相手に敬意をもって対する態度を身に付けたい。身内のことは敬称をつけず、また目上の人に対しては「今お時間よろしいですか」と相手の都合を慮ることができるような常識も、併せて身に付けさせるべく家庭でも指導してください。

②他者と相対してでも言うべきことは言う態度

自身が困難な時に他者に助けを求めることはもちろんのこと、たとえ友人であっても信念に従って、そして相手を思って勇気をもって言うべきことは言う態度を身に付けたい。ただし、伝え方の工夫については、適宜大人から助言を与えることが望ましい。

③食事 朝食は必ずとらせてください。偏った食生活にならないよう依然大人の指導が必要と考えます。

④早寝、早起き

健全な心身の成長のため、規則正しい生活を心がけさせ、その意義を家庭でも指導し、必要に応じてルールを設けるなどして、たとえ中学生であっても子供に任せきりにしないよう注意してください。

⑤奉仕の精神

個人から近い友人、学級、学部、学校、地域社会へと、子供の帰属意識は次第に広がっていく。それに合わせて、学級や学校の環境改善や公衆衛生の改善なども意識し行動できる、すなわち広い視野をもって考えることができるよう促したい。

⑥学習習慣

定期考査、模擬試験、高校入試と規模が大きくなる目標に対して、計画的に学習を進められるようにしたい。

(3) 準備物 **すべてのものに記名**すること。

(ア) 学校が準備するもの

①教科書 4月入学転編入者のみ学校が準備。それ以外は領事館等に問合せ各自準備。

②副教材 後日引落。担任/各教科担当より配布。必要に応じて採択内容を変更や追加をする場合がある。

教科	教材名	出版社	配付学年
国語	新中学問題集 国語	教育開発出版	各学年
	漢字の学習	光村教育図書	各学年
	国文法の基礎	学宝社	第1学年
	級別漢字学習 (4級~2級)	東京法令出版	第1学年
	国語便覧	浜島書店	第1学年
社会	新中学問題集 地理	教育開発出版	第1・2学年
	新中学問題集 歴史	教育開発出版	第1・2学年
	新中学問題集 公民	教育開発出版	第3学年
	資料集 アクティブ地理	浜島書店	第1学年
	資料カラー歴史	浜島書店	第1学年
	最新公民資料	浜島書店	第3学年
数学	新中学問題集 数学	教育開発出版	各学年
理科	新中学問題集 理科	教育開発出版	各学年
	よくわかる理科の学習	明治図書	各学年
	最新理科便覧	浜島書店	第1学年
英語 (ENGLISH) (受験英語)	E New Treasure English series	Z会出版	各学年
	E New Treasure Workbook	Z会出版	各学年
	受 New Treasure 文法問題集	Z会出版	各学年
	受 VITAL3000 (単語帳)	文英堂	第1学年
	E シリウス21 (文法問題集)	育伸社	第1学年
総合	自己実現ノート I will	(学校オリジナル)	各学年

(イ) 家庭が準備するもの

教科	ノート (指定なし)	ファイル	その他
国語	2冊	3つ穴バインダー	—
英語	1冊 (アルファベット不慣れの場合は4線も可)	3つ穴バインダー	イヤホン (EIKEN リスニング用)
数学	2冊	3つ穴バインダー	コンパス、直定規
社会	2冊	3つ穴バインダー	—
理科	2冊	3つ穴バインダー	—
音楽	—	ポケット式ファイル	アルトリコーダー
他 必須物	筆記具、通学用鞆 (自由)、メモ帳 (日々の連絡等)、下敷き、雑巾2枚、弁当・水筒 (水/お茶)、		
他 推奨物	電子辞書、スナック (終礼後8限補習前)、		

(ウ) 備考

- ・辞書は電子辞書を推奨 (自己管理)
- ・EIKEN、ELD では各専用テキストを必要に応じて学校が準備し、随時配付
- ・(イ) 以外の必要なものは、随時生徒を通じて連絡 (近隣で準備できる)
- ・副教材について、兄姉の使っていたものであっても、基本的には新たに購入するものとする。

(4) 教育活動上、生活上の諸事項

- ①希望進路実現の一環として、国語、数学、英語について文科省の週間標準時数よりも1～2授業時間多い課程編成 (各週5授業時間) を行い。基礎力定着、応用力・発展力向上を目指す。
- ②5教科 (国・社・数・理・英) の授業は、中学3年の11月中に、教科書内容をすべて学び終える進捗とする。
- ③英語の教科書は、中高一貫校向けの **New Treasure** を使用する。
- ④希望者に対して開講される8限補習は、7年週3回、8・9年週4回とする。曜日と科目は別途案内。
- ⑤職員会議日においては、希望者に対し5・6限目に相当する時間に、午後補習を行う。詳細は別途案内。
- ⑥中学第3学年 (9年生) の11月中にはすべての教科書内容の学習を終える進捗とする。
- ⑦ELDは中学部3学年をABCの3レベルに分け、習熟度別に学習する。クラス分けは、〈巻末別表3〉に基づいて行う。
- ⑧学部卒業証書授与式を12月に行い、3月31日まで在籍する。卒業認定は3学期修了日 (3月中旬) とする。
- ⑨9年生3学期は受験期による公欠者多数のため、演習中心の4限授業 (行事によっては参加できる場合もあり、別途担任より案内) とし、授業料は全額の6割を徴収する。

4. デジタル図書館について

本学園では、子どもたちにできるだけ日本語の本を読んで欲しいとの思いで、デジタル図書館を開設しています。是非多くの図書に触れられるよう、是非活用してください。

【デジタル図書館の利用方法】

- (1) アクセスする : お手持ちの端末から、西大和学園デジタル図書館にアクセス→ <https://soraapp.com/library/nacusjp>
- (2) ログインする : 利用者IDとパスワードは保護者ページのプロフィール画面のトップにあります。
(保護者ページのアドレス : <https://secure.nacus.org/login2>)
- (3) 借りる : デジタル書籍を選び・借りることができます。借りた書籍はそのまま端末で読むことができます。
 - ・貸出/予約数 : 1人1冊 貸出期間 : 7日
 - ・貸出期間(7日間)が過ぎますと、自動的に返却されますが、読み終わった本を早く返却したい場合は、本にカーソルを合わせて右クリックし、返却ボタンから。

詳しくはこちらのフライヤーをご覧ください。→→→
(リンク切れの場合は平日校HPの下部から)



V Policies

1) Privacy Policy:

Nishiyamato Academy will not disclose any information about you or your child without your written consent. As a process of applying to Nishiyamato Academy, you will be asked to provide your personal information. This information will be secured by our faculties and will never be shared with other organizations, advertisers or other third parties without your explicit permission. Should there be an emergency, your information will be accessed by our staff strictly to contact you to inform you of the event.

2) Qualifications:

To be accepted into Nishiyamato Academy, your child must be able to:

Understand the appropriate level of Japanese corresponding to Japanese standard curriculum.

Cooperate with others when there are group activities.

Be respectful to other students and faculties. As the guardian of a future Nishiyamato student, you must be able to or know a person who:

Can read and understand information which will be provided in Japanese, main source of communication, between the household and the school, (All newsletters will be written in Japanese.)

Can communicate in Japanese to your child. Help your child's homework in Japanese.

3) Admission selection methods:

Your child will be assessed on the performances of the entrance exam and interview.

Nishiyamato Academy will not accept any negotiations regarding your child's test score.

Nishiyamato Academy believes in multiculturalism and fairness. Therefore, one ethnicity, religion, appearance or any other factor will not be favored over the other.

If, for any reason, your child did not meet the qualification to enter Nishiyamato Academy due to performance during the entrance examination or interview, the reasons will not be because of gender, race, belief, religion, social status, nationality, disability, or any other factor.

Nishiyamato Academy may invite parents or guardians to an interviewing process for additional information. Your child may be enrolled in Nishiyamato Academy upon completion of entrance examination, interview, and attendance of orientation. Once these processes are completed, enrollment of your child will be accepted. If maximum capacity is exceeded in the class your child wishes to enroll, he/she will be placed on a waiting list and be contacted once there is availability.

4) CHILD ABUSE REPORTING LAW REQUIREMENTS:

All staff members are REQUIRED by California State law and licensing requirements to report immediately to the police or Child Protective Services (CPS) any instance when there is reason to suspect the occurrence of physical, sexual, or emotional child abuse, child neglect, or exploitation.

The staff may not notify parents when the police or CPS are called about possible child abuse, neglect, or exploitation, except on the recommendation of CPS or the police.

5) NON-DISCRIMINATION POLICY:

Nishiyamato Academy does not discriminate on the basis of gender, race, color, religion, or national or ethnic origin in admittance, education, or other administrative policies and extends to all the rights, privileges, programs, and activities generally made available to students at the school.

6) EMERGENCY SCHOOL CLOSURES:

In the event of severe weather, Nishiyamato Academy may close. In general, if the neighboring schools are closed, Nishiyamato Academy will be as well. In case of serious emergencies such as earthquakes, fire, storms, loss of power/water, parents will be notified, if possible, and children will be cared for until parents or emergency contacts arrive.

7) ILLNESSES:

The problem of communicable disease is prevalent in every school and NAC is no exception. Parents must make other arrangements for the care of their children when they show symptoms of any deviation from normal health. If a child becomes ill at NAC the director or teacher will immediately notify the parents. The child will be kept separated from the class until taken home.

Children will not be permitted at our school with any of the following conditions:

1. Fever of 100 degrees under arm (auxiliary) or higher, and if they also have one or more of the following: diarrhea, earache, signs of irritability or confusion, sore throat, rash.
2. Vomiting on two or more occasions within the past 24 hours.
3. Diarrhea – three or more watery stools in a 24-hour period.
4. Draining rash or undiagnosed rash lasting over a 24-hour period.
5. Eye discharge or pink eye. Children can be readmitted after medical diagnosis to rule out bacterial or viral infection, or 24 hours on antibiotic treatment.
6. Fatigue that prevents participation in regular activities.
7. Open oozing sores and scabs, unless properly covered and 24 hours on antibiotic treatment.
8. Head lice – until treatment is effective and a follow-up check has been made by school personnel.

8) HEALTH RECORDS and MEDICATIONS:

Medication must be in the original container and accompanied with a copy of the information given to you by the pharmacy. Before any prescription or nonprescription medication can be administered, we must have permission in writing by the child's parent or guardian. Please fill out the medication forms and enter instructions into the Daily Medication Log Book. Please bring a copy of the information given to you by the pharmacy.

Medication must go home after the last date that the medication is administered.

Health forms are required to be completed at the time of enrollment showing any allergies, physical handicaps, a statement of general health, and a current immunization history. These must be updated and kept current.

9) PAYMENT and DISMISSAL (Only penalty is stated. Please check more details on the page 8.)

1. If an automatic withdrawal of tuition fees (ACH) or check payment is declined, \$30 fee will be charged, and a check must be paid no later than one week after the declines payment transaction.
2. If check payment is requested, \$10 administrative fee will be charged.
3. A \$30/week administrative fee will be charged if the payment is not made within 2 weeks of the declines payment. In addition, students are not permitted to attend school.
4. **IF THE PAYMENT IS NOT RECEIVED WITHIN 30 DAYS OR MORE AFTER THE DECLINES PAYMENT, THE CLAIM WILL BE TRANSFEREED TO A COLLECTION AGENCY, AND THE STUDENT WILL LOSE ENROLLMENT AT NISHIYAMATO ACADEMY.**
5. Only completed transactions for payment count toward tuition fee payment. Bounced checks will not be accepted.

VI 卷末別表集

〈巻末別表1〉

1. 学校指定制服一覧表

	男子全学年共通	幼～2年生女子	3年～中3女子
必須 アイテム	半袖ロゴ付白ポロシャツ \$23.99～	ロゴ付白セーラーブラウス \$27.99～ または、半袖ロゴ付白ポロシャツ \$23.99～	半袖ロゴ付白ポロシャツ \$23.99～
必須 アイテム	紺色長ズボン \$26.99～ または、紺色半ズボン \$19.99～	ジャンパースカート \$46.99～	チェックプリーツスカート \$46.99 または、紺色スカート \$32.99～
希望 アイテム	長袖ロゴ付白ポロシャツ \$26.99～ 女子用 バイクショーツ \$13.99 NACパーカー (前ジッパー) ロゴ付 \$29.99～ NACカーディガン (前ボタン) ロゴ付 \$42.99～ 女子3年～中3 ロゴ付白セーラーブラウス \$26.99～ 女子用 各種ヘアアクセサリ \$5～		

※備考：サイズによって価格が異なります。上記価格は業者が独自に設定し、予告なく変更される場合があります。

2. ユニフォーム取り扱い会社

Norman's Uniform 371 W 6th St., San Pedro, CA 90731 (310)832-8342 <http://www.normansuniforms.com>

❖制服購入方法

以下のいずれかの方法で購入してください。

- (1) 店頭で直接購入 371 W 6th St., San Pedro, CA 90731
 - ・店内ではサイズ合わせ・直しあり。
 - ・営業時間はWebサイトにてご確認ください。
 - ・駐車場は店舗前の道路にコイン駐車場があります。
- (2) 電話オーダー (別途送料有) (310)832-8342
- (3) オンラインオーダー (別途送料あり)
 - ①ノーマンズユニフォームのウェブサイトへアクセス (www.normansuniforms.com)
 - ②本学園の名前 (または番号) を入力してオンラインオーダーページへジャンプ
 - ③希望する商品の希望枚数を選択して購入

❖サイズ確認方法

本校事務局にてサンプルを確認 (一部) → 事務室に直接声をかけてください。予約不要。

❖中古制服リサイクルシステム

(1) 買取り方法

- ①対象は退学 (帰国) するご家庭のみとする。ジャンパースカート・チェックスカート・スカート・ズボン (長・短) のみ該当
- ②原則として、ポロシャツ、セーラーブラウス・パーカー、カーディガンは対象外とする。
- ③原則として、購入後1年以内で、事務が査定を行い再販売が可能とみなせる状態であること (破損、しみ等がないもの)
- ④クリーニングに出した状態で、ボタンやフックが全部そろった状態であること。
- ⑤退学前に事務までクリーニング済の制服を持参し、買取り申込書に必要事項を記入する。
- ⑥買取り金額は直近の授業料引き落としの際にクレジットバックする。(現金・チェックによる返金不可)
※退学後すぐに帰国する場合は口座を閉じる時期をご確認ください。
- ⑦事務が買取り可能と判断した場合、以下の価格で買取ることとする。

ジャンパースカート(\$9)・チェックスカート(\$9)・スカート(\$8)長ズボン(\$5)・短ズボン(\$4)

(2) 中古制服販売方法

- ①販売対象アイテムは、ジャンパースカート、チェックスカート、スカート、ズボン (長・短) のみ該当。
- ②在庫の確認の為、希望者は事前に事務にお問合わせ頂く。
- ③購入の際は、事務にて「購入フォーム (制服)」に記入し、後日授業料と一緒に引落としとなる。
- ④以下の価格で購入できることとする。

ジャンパースカート(\$9)・チェックスカート(\$9)・スカート(\$8)長ズボン(\$5)・短ズボン(\$4)

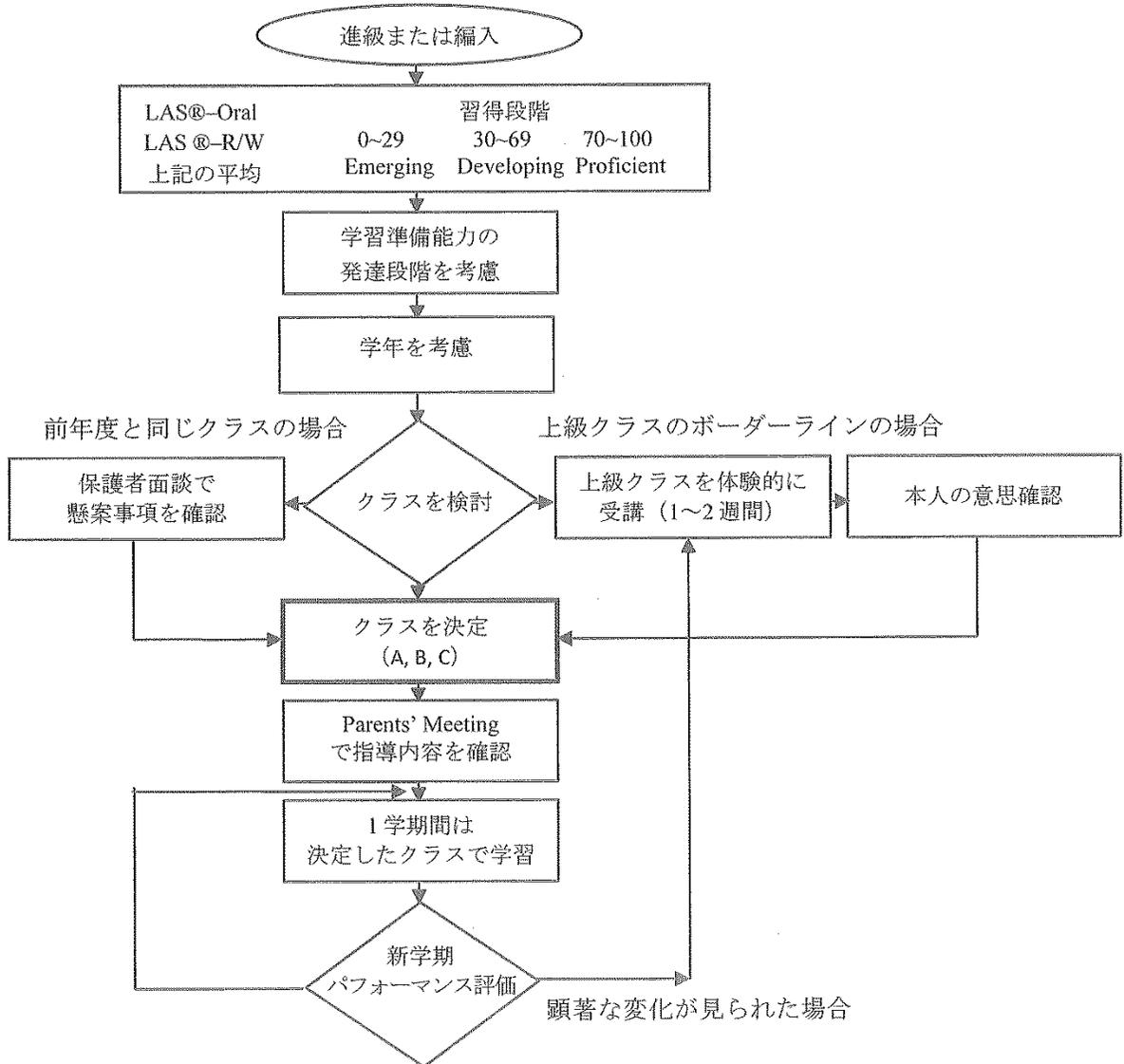
❖お手入れ方法

布がパーマメントプレスで非常に丈夫で優れた素材のため、家庭用洗濯機・乾燥機を何度使用しても、傷むことがない。
プリーツも残り、アイロンも不要。

〈巻末別表2〉

ELD クラスプレースメントの手続きについて

ELD プログラムは英語四技能（読む・書く・話す・聞く）の習得・発達段階を生かして、英語力を段階的に育成するように構成されたカリキュラムです。本校では、特に児童生徒の多様なニーズに合うように、手続きを行っています。本校では、新年度開始時に LAS@ (Language Assessment Scales) by McGraw Hill を活用して、児童生徒の四技能を検定し、クラス編成を行っています。語彙、構文力、表現力などの力を LAS@-Oral で、言語習得度、読解力、文法、活用法については、LAS@-R/W で検定し、3つの習得段階に分けます。更に、学習準備能力の発達段階と学年を考慮し、最後に適切な学習ができるクラスサイズであるかどうかを検討し、第1～3学年・第4～6学年・第7～9学年をそれぞれ3クラスに編成しています。下記のチャートは、それぞれの子供たちの言語そして学習の発達段階に適した教材で、継続して効果的に英語を習得していくことができるよう計画された、ELD クラスのプレースメントの仕組みです。



〈巻末別表2 英語版〉

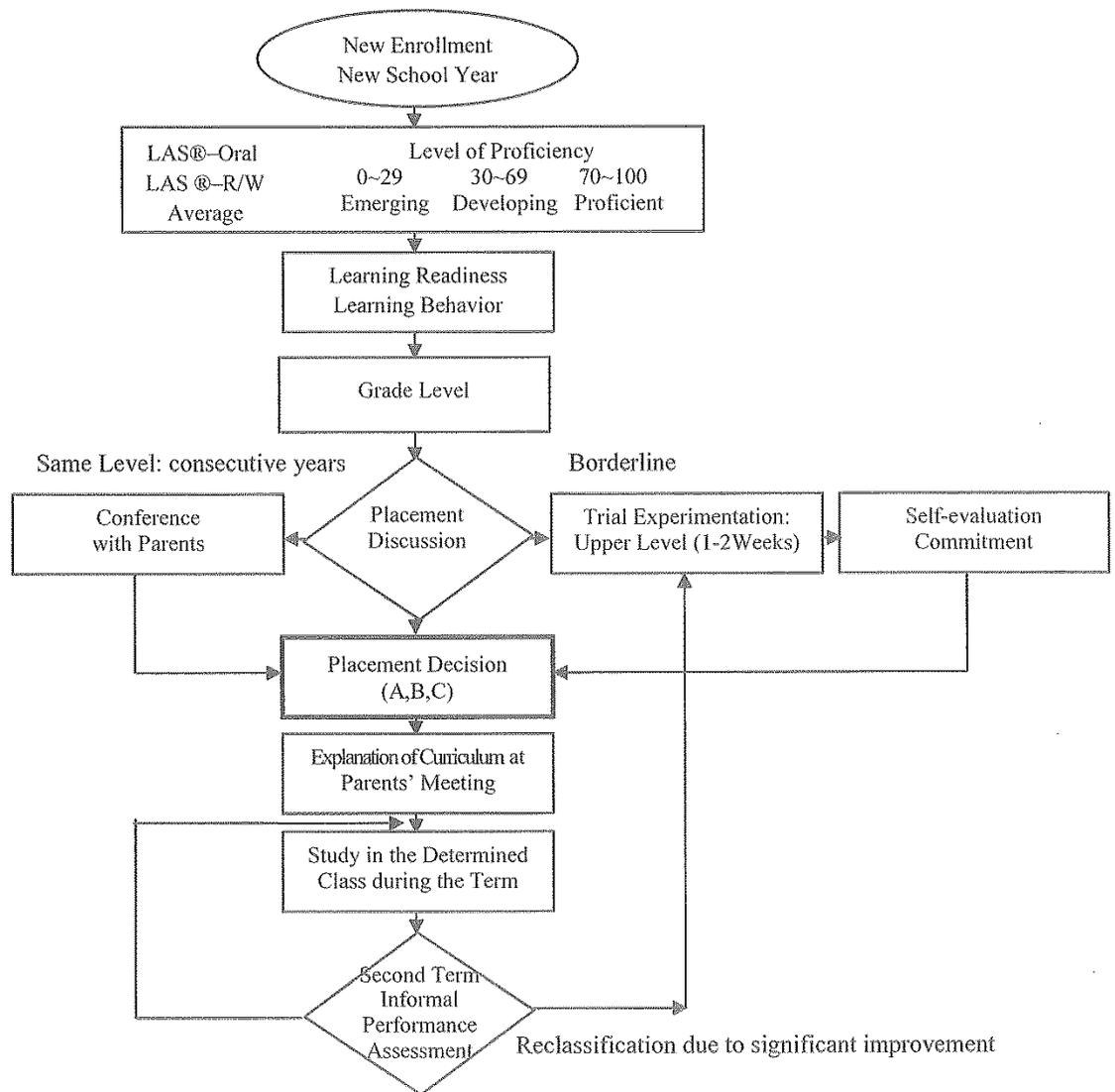
Process of ELD Placement

The English Language Development (ELD) program is designed to assist and encourage students of all levels of English. The curriculum has been implemented to provide for the diversity of our students.

The LAS® (Language Assessment Scales) by McGraw Hill is designed for classroom placement. It fully assesses all four language areas: listening, speaking, reading, and writing. The LAS®-Oral measures speaking and listening skills. It includes using vocabulary, forming sentences, and comprehending situational contexts. The LAS®-R/W measures reading and writing skills. It assesses the following: Reading Comprehension, Mechanics, and Usage. The LAS® scores for 1st through 3rd grades reflect level 1 exams; 4th through 6th grades reflect level 2 exams; 7th through 9th grades reflect level 3 exams.

In addition to the LAS® evaluation, we take careful consideration of students' readiness, grade level, and appropriate size of classes before we determine each student's placement. Finally, we divide first through third graders, fourth through sixth graders, and seventh through ninth graders into three classes.

The following chart illustrates the process of assessment and placement, and is responsive to the educational needs of our students.



〈巻末別表3〉

災害発生時の対応





西大和学園カリフォルニア校 学校便覧 早見表

・学校の電話番号：310-325-7040 ・メールアドレス：mail@nacus.org ・住所：2458 Lomita Blvd., Lomita, CA 90717

番	内 容	参 照
①	欠席・遅刻・早退等の連絡は、前日までに保護者ページから。 急な場合は当日の8時～8時15分に電話。	III-1-(1) (P12)
②	担任とのやりとり、連絡帳を基本ツールに。送迎時、車越しも。	II-1-(3) -①(P7)
③	以下いずれかの場合は、欠席させてください。 * 100度 (F) 以上の発熱、下痢やのど、耳の痛みや発疹がある場合 * 24時間以内に2回以上の嘔吐が確認された場合 * 24時間以内に3回以上の水様便が確認された場合	II-7-(1) (P10)
④	行事予定・下校時刻の確定版は、学級通信で確認 (担任発行)	II-1-(2) -⑥ (P7)
⑤	待機教室は、小中の兄弟姉妹1時間まで。行事等で開室しない場合あり	III-1-(6) (P14)
⑥	学校感染症は、医者からの書面での診断&再登校許可必要。詳細確認→	II-3-(8) (P9)
⑦	旅行の際は【旅行届】を提出。保護者ページからDLし、担任に提出	II-3-(2) (P8)
⑧	【休学届】は休学をする初日の前月の15日まで 保護者ページからダウンロードし事務局に提出。	II-3-(3) (P9)
⑨	小中2週間以上の欠席は日本の学校に体験入学必要 (義務教育) 体験先に事前問合せを。	II-3-(4) (P9)
⑩	学校の公的証明書発行には、証明書発行願が必要。発行には約1週間。	II-4 (P10)
⑪	事務室で買える物：ピアノカマウスピース、ソプラノリコーダー、アル トリコーダー、指定体操服 (NACT シャツ、NAC ショーツ)、お昼寝用 コットシート	II-6 (P10)
⑫	追加購入、制服は業者(Norman's Uniform)に、体操服は学校 (371 W 6 th St., San Pedro, CA 90731 (310)832-8342 http://www.normansuniforms.com)	巻末別表1 (P30)
⑬	お迎え遅れないようご注意ください。レイトフィー発生。	III-1-(4) - (ウ) (P13)
⑭	ピーナッツまたはピーナッツを含むもの禁止。NACはナッツフリー。	III-4-(1) (P18)
⑮	災害時・緊急時の避難状況や保護者送迎指示は、事前登録の緊急連絡先 (保護者ページから編集可) に配信。学校通信機能 (警察・消防とのやり取 り、状況の配信) に支障が出ないよう、保護者から学校へは基本的に連 絡しないでください。	I-5-(4) (P6)

Memo